

取扱説明書
GL04P



- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（143 ページ）にご連絡ください。

Microsoft®、Windows®、Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、および Windows® XPIは、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

AdobeおよびAdobe Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

PlayStation、PS3、PSPは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。また、PSVITAは同社の商標です。

Wii、ニンテンドー3DS、ニンテンドーDS、ニンテンドーDS Lite、ニンテンドーDSiおよびニンテンドーWi-Fiコネクションは、任天堂の商標または登録商標です。

iPod touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。

Pocket WiFiの商標およびロゴは、イー・アクセス株式会社の商標または登録商標です。



HUAWEI は、中国HUAWEI TECHNOLOGIES Co., Ltd.の商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

GPL画面によるオファー

本製品はGNU General Public License (Version2) が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。

http://www.huaweidevice.com/mbb_copyright

または、mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。



Li-ion

はじめに

この度は、EMOBILE GLO4P（以下、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたらお問い合わせ先（143 ページ）にご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

- 本製品はイー・モバイルの提供するサービスエリアおよび国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- EM chip（USIM カード）を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使いかたを誤ったときや静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときなどには登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

本書の使いかた

章番号


2 無線 LAN で接続する

Windows/パソコンを接続する



画面表示や手順は Windows 7 で、本製品の無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。

※ OS 標準の接続設定機能を例にして説明しています。

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、B1 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

操作手順

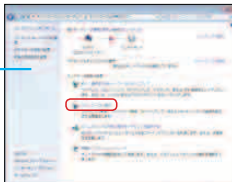
1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押しして電源を入れます。インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. パソコンの無線 LAN 機能をオンにします。
 - パソコンの無線 LAN 機能をオンにする方法は機種ごとに異なりますので、各パソコンメーカーに確認してください。
3. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順に選択します。
 - Windows XP をお使いの場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順に選択します。
 - コントロールパネルの表示方式によっては、直接選択できる場合もあります。
4. 「ネットワークに接続」をクリックします。

ページ番号

2

45

画面表示



- Windows XP をお使いの場合は、「ワイヤレス ネットワーク接続」をダブルクリックします。

• 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。

はじめに	1
ご利用いただくにあたって	1
本書の使いかた	2
目次	3
安全上のご注意	5
ご利用上のお願いとご注意	14
注意事項	16
無線 LAN 使用に関するご注意	16
免責事項について	18
1 ご利用になる前に	19
本製品の使いかた	20
動作環境	21
梱包品を確認してください	22
各部の名称と機能	23
EM chip (USIM カード) を準備してください	26
内蔵電池の充電について	28
電源を入れる / 切る	29
工場出荷時設定について	30
microSD カードについて	31
2 無線 LAN で接続する	33
無線 LAN 機能について	34
PSVITA を接続する	35
ニンテンドー 3DS / DSi / DS / DS Lite を接続する	36
PSP を接続する	38
Wii を接続する	40
PS3 を接続する	41
WPS 対応の無線 LAN 端末を接続する	43
Windows パソコンを接続する	45
Mac を接続する	47
3 USB ケーブルで接続する	49
Windows パソコンに接続する	50
Mac に接続する	56
4 各種機能を設定する	61
GLO4P 設定ツールについて	62
かんたん設定	65
インターネットや無線 LAN の情報を確認する (基本情報)	69
各種機能の詳細設定をする (設定)	70
サポート情報を確認する (ヘルプ)	102
ローミング設定をする	102
受信したメッセージを確認する	103
microSD カードの情報を確認する	105
モバイル機器用設定ツールについて	106

目次




5 故障と思われる前に.....	126
6 付録.....	133
主な仕様.....	134
GL04P 設定ツール 設定一覧.....	135
用語集.....	140
保証とアフターサービス.....	142
お問い合わせ先.....	143

安全上のご注意








- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要などきにご覧になれるよう大切に保管してください。
- 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。

表示区分の説明

次の表示区分は、表示内容を守らずに誤った取り扱いをした場合に生じる危害・損害の程度について説明しています。

 危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

 禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項（してはいけないこと）を示しています。
 分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 水濡れ禁止	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 風呂、シャワー室での使用禁止	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
 指示	本製品の取り扱いにおける指示事項（必ず実行していただくこと）を示しています。
 電源プラグを必ずコンセントから抜く	AC アダプタまたはパソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

安全上のご注意

GL04P、ACアダプタ、USBケーブルの取り扱いについて（共通）



危険



分解、改造をしないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。



強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、火のそば、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火、変形、変色や故障の原因となります。また本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。



濡れた手で触らないでください。

感電や故障の原因となります。



浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。



発熱、発火、感電や故障の原因となります。



コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



無理な力や強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。



警告

	<p>GLO4P に接続する AC アダプタは、必ず同梱の PCDO1LPZ10 を使用してください。他の AC アダプタは使用しないでください。</p>
	<p>必ず指定の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。</p>
	<p>充電端子やコネクタ、プラグなどの端子部分に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を触れさせないでください。また内部に入れないでください。 ショートによる火災や故障の原因となります。</p>
	<p>電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>
	<p>ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、必ず事前に電源を切ってください。また、充電は中止してください。 爆発や火災の原因となります。</p>
	<p>液がもれている、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐに使用をやめて AC アダプタをコンセントから抜き、パソコンと USB ケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本製品の電源を切り、お問い合わせ先（143 ページ）にご連絡ください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。</p>
	<p>落雷のおそれがあるときは、本製品およびパソコン、無線 LAN 端末の電源を切り、AC アダプタおよびパソコンの電源プラグを抜いてください。 落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。</p>
	<p>長時間使用しないときには、安全のため、AC アダプタをコンセントおよび本製品から取り外してください。また、本製品をパソコンと USB ケーブル接続中の場合はパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。</p>



注意

	<p>小児や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。</p>
	<p>小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。 感電やけがの原因となります。</p>
	<p>湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。 故障の原因となります。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。</p>

安全上のご注意

GLO4P の取り扱いについて



危険



火の中に投入しないでください。

発火、破裂、発熱、内蔵電池の漏液の原因となります。



警告



車両の運転中に本製品を使用しないでください。

交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。



歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。



万が一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まず AC アダプタまたはパソコンから取り外し、本製品の電源を切り、お問い合わせ先（143 ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。



注意



自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

安全走行を損なうおそれがあります。



長時間の連続使用などで本製品が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



クレジットカードなどを本製品に近づけないでください。

クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。



皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部の材質および表面処理は、以下のとおりです。

	使用箇所	使用材料・表面処理
製品本体	表面	PMMA樹脂、電気メッキ
	側面	PC樹脂+塗装
	操作ボタン（電源）	PC樹脂+ラバー、電気メッキ
	操作ボタン（WPS）	PC樹脂+TPU、塗装
	底面	PC樹脂+ゴムスプレー塗装仕上げ
	EM chipスロット	銅合金
ACアダプタ	本体	PC樹脂
	端子部	銅、銅ニッケルメッキ
microUSB ケーブル（長）	本体	PPO
	USB接続端子	ステンレススチール、ニッケルメッキ
microUSB ケーブル（短）	本体	PVC
	USB接続端子	ステンレススチール、ニッケルメッキ

内蔵電池の取り扱いについて

本製品にはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。取り扱いについて、次のことをお守りください。



危険



内蔵電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。



警告



内蔵電池から液がもれたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。



充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。



注意



充電は必ず周囲温度 0 ~ 35℃の範囲で行ってください。

安全上のご注意



内蔵電池内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

AC アダプタの取り扱いについて



警告



付属の AC アダプタはコンセントに直接接続してください。

タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

指定以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

AC アダプタ：100～240V



注意



AC アダプタをコンセントから抜くときは、USB ケーブルを引っ張らずに、AC アダプタを持って抜いてください。

火災、感電の原因となることがあります。



周囲温度 -10～55℃、湿度 5～95%の範囲でご使用ください。



重いものを載せないでください。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。



布などでくるまないでください。

USB ケーブルの取り扱いについて



警告



コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。

コードを傷め、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、USB ケーブルには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。



注意



コードの根元部分を無理に曲げないでください。



USB ケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずコネクタを持って抜いてください。

コードが傷つき、感電、火災の原因となります。

EM chip (USIM カード) の取り扱いについて



警告



EM chip を本製品に取り付けるときや取り外すときに注意してください。

必要以上に力をかけると、けがや EM chip の破損の原因となります。



注意



EM chip の IC 部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要な IC 部分への接触は避けてください。



分解や改造はしないでください。










データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。

溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

安全上のご注意

	<p>EM chip は当社が指定した機器にてご使用ください。</p> <p>指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>
	<p>本製品を使用中、EM chip 自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。</p>
	<p>落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。</p>
	<p>高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。</p> <p>故障の原因となります。</p>
	<p>電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に EM chip を入れないでください。</p> <p>溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。</p>
	<p>水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。</p> <p>火災、やけど、けが、感電の原因となります。</p>
	<p>小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。</p> <p>感電やけがの原因となります。</p>
	<p>小児や乳幼児が誤って EM chip を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。</p>
	<p>その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。</p>

医用電気機器近くでの取り扱いについて

以下に記載する 4 項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠しています。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品およびパソコン、無線 LAN 端末の電源を切り、本製品の使用を控えてください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- ・手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本製品を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本製品およびパソコン、無線 LAN 端末の電源を切り、本製品を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品およびパソコン、無線 LAN 端末の電源を切り、本製品を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

ご利用上のお願いとご注意

ご利用上のお願いとご注意

共通

- 本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
 - ・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
 - ・冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、強い力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 強い力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

GLO4P

- お客さまご自身で本製品に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- スポンやスカートの後ろポケットなどに本製品を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など強い力がかかるような場所には入れないでください。
- 本製品の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れしないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
- 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。

- microUSB 端子にゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。
- ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のストラップを取り付けることができます。ストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ストラップを取り付けた状態でストラップを持って振り回したり、ストラップを強く引っ張ったりするなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

内蔵電池

- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度によって異なります。極端な高温や低温環境では、内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間も短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。

AC アダプタ

- 充電中、AC アダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。

EM chip (USIM カード)

- IC 部分は、いつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身で EM chip に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

注意事項

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

本書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。

無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「無線 LAN 使用に関するご注意」をよくお読みください。

無線LAN使用に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

本製品の無線 LAN 機能（2.4GHz 帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

項目	説明
使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	DS-SS方式：40m以下 OFDM方式：40m以下
周波数変更の可否	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域の回避可能

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線 LAN を海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

無線 LAN 使用に関するご注意

良好な通信のために

- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも 3m 以上離れた場所でご使用ください。また、AV 機器・OA 機器などの電気製品からは 2m 以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。

無線 LAN に関するお願い

電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

セキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に進入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

免責事項について

- 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を失ったために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

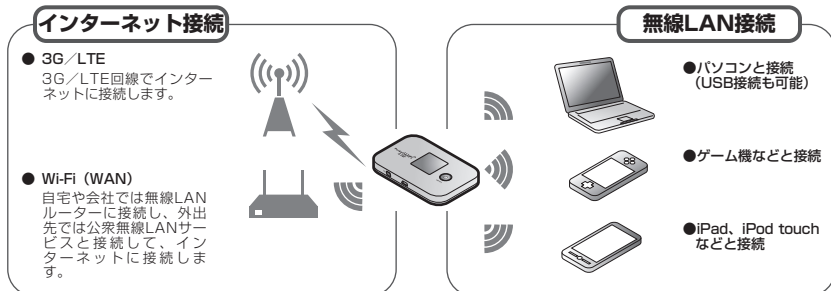
1 ご利用になる前に

本製品の使いかた	20
動作環境	21
梱包品を確認してください	22
各部の名称と機能	23
本体の名称と機能	23
ディスプレイの表示	24
EM chip (USIM カード) を準備してください	26
EM chip を取り付ける	27
EM chip を取り外す	27
内蔵電池の充電について	28
AC アダプタで充電する	28
パソコンに接続して充電する	28
内蔵電池充電時のご注意	29
電源を入れる／切る	29
工場出荷時設定について	30
本製品をお買い上げ時の状態に戻すには (リセット)	30
microSD カードについて	31
microSD カードを取り付ける	31
microSD カードを取り外す	32

1 ご利用になる前に

本製品の使いかた

本製品は、3G/LTE 回線、自宅や会社などの無線 LAN ルーター、公衆無線 LAN サービスを經由して、パソコンやゲーム機などの無線 LAN 端末または USB ケーブルで接続したパソコンをインターネットに接続できます。



本製品は IEEE802.11b/g/n の無線 LAN 規格に対応しており、最大 300Mbps^{**} (IEEE802.11n 接続時) / 最大 54Mbps (IEEE802.11g 接続時) / 最大 11Mbps (IEEE802.11b 接続時) のデータ通信ができます。

^{**}最大通信速度は、無線 LAN 設定の周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定により、以下のように入ります。

周波数帯域幅	Wi-Fi MIMO 有効	Wi-Fi MIMO 無効
20	144Mbps	72Mbps
40	300Mbps	150Mbps

周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定方法については、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

説明

- 無線 LAN 端末は最大 10 台接続できます。また、無線 LAN 接続と USB 接続を同時に利用することもでき、その場合の最大接続台数は無線 LAN 接続 10 台、USB 接続 1 台の合計 11 台となります。ただし、「WAN 設定」の「ネットワーク選択設定」を「Wi-Fi (WAN) 優先」に設定すると、無線 LAN 端末の最大接続台数は 9 台 (Wi-Fi (WAN) 接続除く) となり、USB 接続を含め合計 10 台となります。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台 (SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台) となります。

注意

マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。マルチ SSID で複数の暗号化方式の無線 LAN 端末を接続する場合は、3G/LTE 回線を利用してインターネット接続する必要があります。詳しくは、71 ページ「ネットワーク選択設定」、79 ページ「Wi-Fi (WAN) 設定」、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

動作環境

本製品の動作環境は次のとおりです。

- **対応機器**
パソコン、ゲーム機、iPad、iPod touch など IEEE802.11b/g/n の無線 LAN 規格に対応する機器
- **対応 OS (パソコン) :**
Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降
Windows XP Professional Service Pack 3 以降
Windows Vista Home Basic (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows Vista Home Premium (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows Vista Business (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows Vista Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows 7 Starter (32 ビット)
Windows 7 Home Premium (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows 7 Professional (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows 7 Ultimate (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows 8 (32 ビットおよび 64 ビット)
Windows 8 Pro (32 ビットおよび 64 ビット)
Mac OS X 10.5
Mac OS X 10.6 (32 ビットおよび 64 ビット)
Mac OS X 10.7 (32 ビットおよび 64 ビット)
Mac OS X 10.8 (64 ビット)
対応 OS はすべて日本語版となります。
- **メモリ :**
Windows XP : 推奨 512MB 以上 (256MB 以上必要)
Windows Vista : 推奨 1GB 以上 (512MB 以上必要)
Windows 7 : 1GB 以上必要 (32 ビット) 2GB 以上必要 (64 ビット)
Windows 8 : 1GB 以上必要 (32 ビット) 2GB 以上必要 (64 ビット)
Mac OS X : 推奨 512MB 以上 (256MB 以上必要)
- **ハードディスク : 推奨 100MB 以上 (50MB 以上の空き容量が必要)**
- **画面解像度 : 推奨 1024 × 768 以上**
- **対応ブラウザ :**
Windows : Microsoft Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10
Mac OS : Safari 3, 4, 5, 6

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

お願い パソコンに対するサポートや OS のバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンのマニュアルなどをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

1 ご利用になる前に

梱包品を確認してください

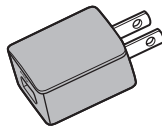
お買い上げいただいた商品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、お問い合わせ先（143 ページ）にご連絡ください。

● 本体

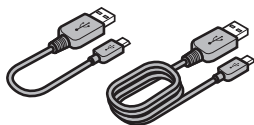


GLO4P 本体

● 付属品



AC アダプタ
(PCD01LP210)



microUSB ケーブル
(17cm / 120cm 各 1 本)



専用工具



かんたんセットアップマニュアル
(別冊：基本編、ポータブルデバイス編 各 1 部)



ご利用いただくにあたって



保証書（本体、AC アダプタ 各 1 部）



無線 LAN 初期設定シール（大小各 1 枚）

注意

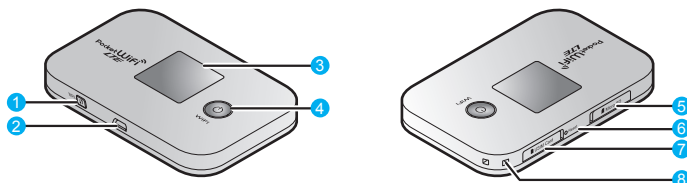
本製品は電池が内蔵されています。お客さまによる内蔵電池の取り外し／取り付けはできません。

お願い

保証書を含め付属品は大切に保管してください。

各部の名称と機能

本体の名称と機能



① WPS ボタン

- ・約 10 秒押しと、WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能を開始します。WPS 機能を搭載した無線 LAN 端末をお使いの場合に、無線 LAN の接続設定を簡単に行うことができます。詳しくは 43 ページ「WPS 対応の無線 LAN 端末を接続する」を参照してください。
- ・2 回押しと SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

② microUSB コネクタ

USB ケーブルを接続します。

③ ディスプレイ

本製品の状態が表示されます。詳しくは、24 ページ「ディスプレイの表示」を参照してください。

④ 電源 / WiFi ボタン (⏻ / WiFi)

- ・約 5 秒押しして、本体の電源を入 / 切します。
電源を入れると無線 LAN 機能がオンになり、自動的にインターネットに接続されます。
- ・約 1 秒押しして、無線 LAN 機能をオン / オフします。
- ・本製品が動作しなくなった場合などに、約 10 秒押しと電源を強制的に切ることができます。

⑤ microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

⑥ RESET ボタン

本製品をお買い上げ時の状態に戻す場合に操作します。詳しくは 30 ページ「本製品をお買い上げ時の状態に戻すには (リセット)」を参照してください。

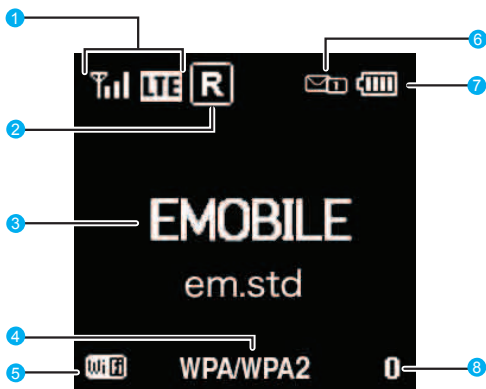
⑦ EM chip スロット

EM chip を取り付けます。

⑧ ストラップ取り付け穴

1 ご利用になる前に

ディスプレイの表示



① ネットワークの種類と受信レベル

3G / LTE ネットワーク

・ **LTE** : LTE ネットワーク接続中 ・ **3G** : 3G ネットワーク接続中

・ **📶** ⇄ **📶** ⇄ **📶** : 受信レベル「強」⇄「弱」⇄「圏外」

Wi-Fi (WAN) ネットワーク

・ **📶** : Wi-Fi (WAN) ネットワーク接続中 (受信レベル強)

・ **📶** : Wi-Fi (WAN) ネットワーク接続中 (受信レベル弱)

② ローミング状態表示

ローミングサービスを利用して接続しているときに表示されます。ローミングサービスご利用時はローミング料金が発生する場合があります。

③ アニメーション/テキスト表示部

発信中、充電中、WPS 実行中に、状態または結果を示すアニメーションやテキストが表示されます。詳しくは 25 ページの表を参照してください。

④ 暗号化方式表示

SSID1 の現在の暗号化方式を表示します。

⑤ WiFi 状態表示

・ **📶** 点灯 : 無線 LAN が有効 ・ 消灯 : 無線 LAN が無効

・ **📶** 点灯 : マルチ SSID 有効







⑥ メッセージ受信表示

メッセージ受信時に、未読のメッセージ数が表示されます。

・ **📧** : 未読のメッセージが 10 件以上ある場合

・ **📧** : メッセージがいっぱいで、これ以上受信できない場合

7 電池残量表示

- ・  ⇒  : 電池残量「多い」⇒「少ない」
- ・ 点滅 : 電池残量がほとんど残っていません。直ちに充電してください。
- ・  ⇒  ⇒  ⇒  : 充電中

8 無線 LAN 接続数表示

無線 LAN 接続されている機器の台数が表示されます。

注意

本製品の操作が 30 秒以上なかったときは、本製品のディスプレイが自動的に消灯します。再度ディスプレイを点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。

アニメーション／テキスト表示について

本製品では、通信状態、異常状態の情報をアニメーションまたはテキストによってお知らせします。

アニメーション／テキスト表示	通信状態 / 異常状態
	充電中（電源が入っていない状態）
	充電完了（電源が入っていない状態）
	WPS 実行中
	WPS 成功
	WPS 失敗
	発信中（インターネットに接続しようとしている状態）
	インターネット接続失敗
BATTERY ERROR	内蔵電池の異常です
No Service	圏外
EMOBILE	現在接続しているネットワーク名*
em.std	現在接続しているプロファイル
em.gbl	
WEP	
WPA2	
WPA	
WPA/WPA2	
NONE	SSID1 の無線 LAN 暗号化方式
Insert USIM	EM chip が取り付けられていません
PIN Lock	PIN コードの入力待ち状態です (GLO4P 設定ツール画面での PIN コード入力が必要です。)
PUK Lock	PUK コードの入力待ち状態です (GLO4P 設定ツール画面での PUK コード入力が必要です。)

1 ご利用になる前に

アニメーション／テキスト表示	通信状態 / 異常状態
Invalid USIM	EM chip が完全ロック状態です 無効な EM chip が取り付けられています
Low Battery	電池残量がほとんど残っておりません (直ちに充電してください)
IPアドレスエラー インターネット側とLAN側の IPアドレスが重複しています。 取扱説明書の「故障と思わ れる前」を参照してください。	インターネット側 (WAN 側) IP アドレスと本製品に設定 されている IP アドレス (LAN 側) が重複しています。お買 い上げ時、本製品の IP アドレス (LAN 側) は「192.168.1.1」 に設定されています。エラーの詳細については、132 ページを 参照してください。
ソフトウェア更新のお知らせ パソコン等と接続して設定 ツールにログインし、「アッ プデート」のメニューから最新の ソフトウェアがダウンロードで きます。	GL04P 設定ツールの「アップデート」の「自動アップデー トを有効にする」にチェックが入っている場合、定期的に自 動でソフトウェアのバージョンチェックを行います。 最新のソフトウェアが見つかったと通知されます。本製品のい ずれかのボタンを押すと本通知は消えますが、ソフトウェア 更新が完了するまで、本製品の電源を入れなおしたりお買 い上げ時の状態に戻したりすると再度表示されます。 操作方法については、100ページ、120ページを参照してください。

26

※ : Wi-Fi (WAN) 接続中は、接続先の SSID 名が表示されます。

EM chip (USIMカード) を準備してください

本製品をご利用になるお客さまに貸与されている IC カードのことを EM chip (エムチップ) といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには EM chip を本体に取り付ける必要があります。EM chip を取り付けしていない本製品を無線 LAN 端末やパソコンと接続しても、データ通信は一切できません。EM chip 台紙に記載されている取扱説明も参照してください。

IC部分
(表面)



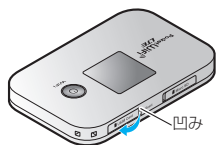
(裏面)



注意

- 使用中に EM chip を取り外すと本製品が正常に動作しなくなります。本製品に電源が入っている状態では絶対に取り外さないでください。
- EM chip の取り付け／取り外しのときに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- EM chip の取り付け／取り外しときは、必要に応じて同梱の専用工具をご使用ください。

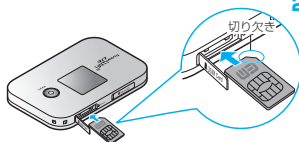
EM chip を取り付ける



1. 本製品の電源が入っていないことを確認し、EM chip スロットカバーを開きます。

EM chip スロットカバーの横にある凹みに爪を入れてカバーを持ち上げた後、矢印の方向に引き出します。

- 爪を傷付けないようにご注意ください。



2. EM chip の IC 部分を上にして、カチッと音がするまで挿入します。

- EM chip が完全に取り付けられていることを確認してください。
- EM chip の取り付け／取り外しのときは、IC 部分に触れたり、傷ついたりしないようにご注意ください。



3. EM chip スロットカバーを閉じます。

27

EM chip を取り外す

1. EM chip スロットカバーを開きます。

詳しくは、27 ページ「EM chip を取り付ける」を参照してください。

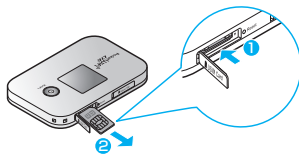
2. EM chip をカチッと音がするまで押し込み ①、ゆっくり離します。

EM chip が少し出てきます。

3. 少し出てきた EM chip を ② の方向へ取り外します。

- 取り外しにくいときは、同梱の専用工具で EM chip の端をはさんで引き出してください。

4. EM chip スロットカバーを閉じます。



注意

取り外した EM chip は紛失しないよう、ご注意ください。

1 ご利用になる前に

内蔵電池の充電について

お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

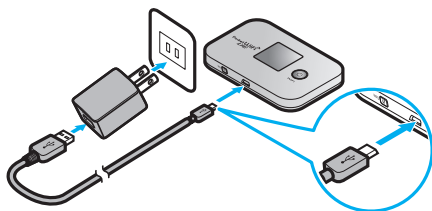
内蔵電池の電池残量は、ディスプレイ上部の電池残量表示で確認できます。電池切れに近い状態になると、電池残量表示が点滅します。詳しくは、24 ページ「ディスプレイの表示」を参照してください。

注意

- 充電の際は、必ず梱包品の AC アダプタと microUSB ケーブルをご利用ください。
- USB ケーブルを取り付けるときは正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようとすると、破損や故障の原因となります。
- 充電中に本製品内の温度が高くなると、内蔵電池の性能維持のため、充電が停止することがあります。

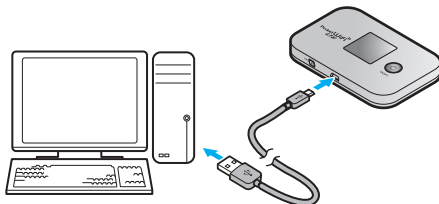
AC アダプタで充電する

1. 本製品の USB コネクタに USB ケーブルの microUSB コネクタを接続します。
2. USB ケーブルのもう一方のコネクタを AC アダプタに接続して、AC アダプタのプラグを家庭用 AC コンセントに差し込みます。



パソコンに接続して充電する

1. 本製品の USB コネクタに USB ケーブルの microUSB コネクタを接続します。
2. USB ケーブルのもう一方のコネクタをパソコンの USB ポートに接続します。



- 本製品を初めてパソコンに接続したときは、EMOBILE GLO4P ドライバのインストーラーが自動的に起動します。

説明

電源を切っている間でも、充電中は充電中を示すアニメーションがディスプレイに表示されます。充電が完了するとディスプレイは消灯しますが、いずれかのボタンを軽く押すと、ディスプレイが点灯して電池アイコンが表示され、充電完了かどうかを確認できます。

内蔵電池充電時のご注意

内蔵電池を充電するときは、次の内容にご注意ください。

- 必ず付属の AC アダプタを使用するか、付属の USB ケーブルでパソコンに接続して充電してください。
- 使用していない状態でも内蔵電池は放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。
- 充電時間／使用時間の目安（メーカー調べ）

充電時間※ ¹	連続待機時間※ ²	連続通信時間※ ²
約 3 時間（AC アダプタ） 約 7.5 時間（USB 接続）	約 380 時間（無線 LAN オフ時）	約 10 時間（LTE）／約 10 時間（3G）



※ 1：充電完了までの時間は、周囲の温度や内蔵電池の使用期間などによって異なります。

※ 2：連続待機時間、連続通信時間は、使用環境や電波状況などにより変動します。

- 内蔵電池の利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

電源を入れる／切る




1. 電源／WiFi ボタン（ / WiFi）を約 5 秒押し続けて電源を入れます。
電源を入れると、自動的にインターネットに接続されます。また、無線 LAN 機能がオンになります。
2. 電源／WiFi ボタン（ / WiFi）を約 5 秒押し続けて電源を切ります。

注意

EM chip に PIN コード認証が設定されている場合には、本製品の電源を入れると本体ディスプレイに「PIN Lock」(25 ページ)と表示されます。PIN コード入力是对応する Web ブラウザを搭載した機器でのみ可能なため、PIN コードを入力できない無線 LAN 端末のみで使用する場合には、PIN コード認証を無効に設定してください。詳しくは、72 ページ「EM chip PIN 管理」を参照してください。

強制的に電源を切るには

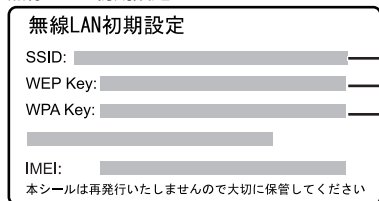
電源／WiFi ボタン（ / WiFi）を約 10 秒押し続けると電源を強制的に切ることができます。本製品が動作しなくなった場合などに利用できます。

1 ご利用になる前に

工場出荷時設定について

工場出荷時は、機器固有のネットワーク名 (SSID) と暗号化キーが設定されています。同梱の「無線 LAN 初期設定シール」に工場出荷時に設定されているネットワーク名 (SSID)、暗号化キー 5 桁 (WEP64bit) / 8 桁 (WPA) が記載されています。

無線 LAN 初期設定シール



- ネットワーク名 (SSID)
お買い上げ時の「SSID2」は、無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の末尾に「-W」を追加したものです。
- 暗号化キー (WEP Key)
- 暗号化キー (WPA Key)

本製品と無線 LAN 端末を接続するとき、必要な情報ですので、初回設定時に確認できるようにしてください。

また、本製品はマルチ SSID 機能 (SSID2) に対応しています。本機能により、ゲーム機など WEP のみに対応した無線 LAN 端末と WPA に対応したパソコンなどの無線 LAN 端末を混在して同時に利用することができます。お買い上げ時、マルチ SSID 機能は無効になっています。詳細は 81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

30

注意

通信の安全性を高めるために、暗号化方式は WEP よりも WPA/WPA2 に設定することをお勧めします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

本製品をお買い上げ時の状態に戻すには (リセット)

RESET ボタンを利用する

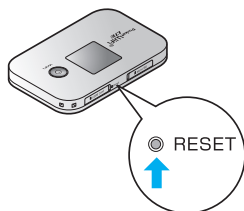
本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。受信したメッセージは削除されません。

1. 本製品の電源が入った状態で、RESET ボタンを約 2 秒押しします。
 - ・再起動されると、お買い上げ時の状態に戻ります。

GLO4P 設定ツールを利用する

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻し、受信したメッセージも全て削除します。

1. GLO4P 設定ツールを起動 (62 ページ) し、ログインします。
2. 「設定」→「システム設定」→「工場出荷設定」の順にクリックします。
3. 「リストア」ボタンをクリックします。



注意

- リセットを行うとご購入後に設定した内容はすべて削除されますので、十分ご注意ください。ご利用ください。また万一の場合に備え、あらかじめ設定内容を無線 LAN または USB ケーブル接続したパソコンに保存することも可能です。詳しくは、98 ページ「バックアップ & リストア」を参照してください。
- 本操作を行っても、EM chip の登録内容、microSD カードに保存した内容は削除されません。
- 爪楊枝のような、先端が尖ったもので押ししてください。強く押しすぎると、破損の原因になります。また、ペンや鉛筆などを使うと、インクなどが張り付き汚損する場合があります。

microSDカードについて

本製品に microSD カードを取り付けると、USB ケーブルで接続したパソコンから本製品を USB メモリとして利用することができます。

本製品では、メモリ容量が最大 2GB までの microSD カード、最大 32GB までの microSDHC カード、最大 64GB までの microSDXC カードに対応しています。ただし、市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

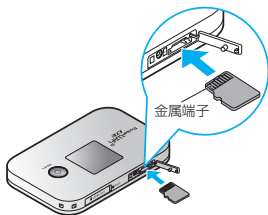
注意

使用中に、microSD カードを取り外さないでください。保存されているデータが破損したり、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。

microSD カードを取り付ける



1. 本製品の電源が入っていないことを確認し、microSD カードスロットカバーを開きます。
microSD カードスロットカバーの横にある凹みに爪を入れてカバーを持ち上げた後、矢印の方向に引き出します。



2. microSD カードの金属端子を上に向けて、カチッと音がするまで挿入します。
 - microSD カードが完全に取り付けられていることを確認してください。
3. microSD カードスロットカバーを閉じます。

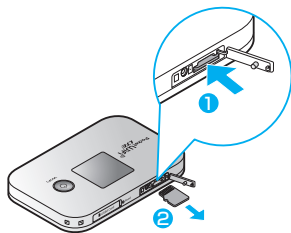
1 ご利用になる前に

注意

microSD カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。確実にロックされる前に指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、microSD カードを取り付けるときは、microSD カードスロットを顔などの方に向けてください。

microSD カードを取り外す

1. microSD カードスロットカバーを開きます。
詳しくは、31 ページ「microSD カードを取り付ける」を参照してください。
2. microSD カードをカチッと音がするまで押し込み①、ゆっくり離します。
microSD カードが少し出てきます。
3. 少し出てきた microSD カードを②の方向へ取り外します。
4. microSD カードスロットカバーを閉じます。



注意

- microSD カードが出てきてもすぐに指を離さないようにしてください。急に指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、microSD カードを取り外すときは、microSD カードスロットを顔などの方に向けてください。
- 取り外した microSD カードは紛失しないよう、ご注意ください。

2 無線LANで接続する

無線 LAN 機能について.....	34
PSVITA を接続する	35
ニンテンドー 3DS / DSi / DS / DS Lite を接続する	36
PSP を接続する	38
Wii を接続する	40
PS3 を接続する	41
WPS 対応の無線 LAN 端末を接続する.....	43
Windows パソコンを接続する.....	45
Mac を接続する.....	47

2 無線 LAN で接続する

無線LAN機能について

本製品は IEEE802.11b/g/n の無線 LAN 規格に対応しており、本製品と無線 LAN 端末（パソコンやゲーム機など）を無線 LAN で接続して、最大 300Mbps ※（IEEE802.11n 接続時）／最大 54Mbps（IEEE802.11g 接続時）／最大 11Mbps（IEEE802.11b 接続時）のデータ通信ができます。

※最大通信速度は、無線 LAN 設定の周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定により、以下のように入力されます。


周波数帯域幅	Wi-Fi MIMO 有効	Wi-Fi MIMO 無効
20	144Mbps	72Mbps
40	300Mbps	150Mbps

周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定方法については、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

また、本製品は WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能に対応しており、お使いの無線 LAN 端末が WPS 機能に対応している場合には、無線 LAN の接続設定を簡単に行うことができます。WPS 機能に対応していない無線 LAN 端末でも、本製品に設定された SSID と暗号化キーを入力するだけで簡単に接続することができます。

34

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押しすると、SSID 1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID 2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。
- 本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名 (SSID) は、「GLO4P- で始まる英数字」で表示されます。お客さまが変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線 LAN 電波ですので接続しないよう注意してください。

ここでは、PSVITA (PlayStation Vita)、ニンテンドー 3DS / DSi / DS / DS Lite、PSP (PlayStation Portable)、Wii、PS3 (PlayStation 3)、WPS 対応機器、Windows パソコン、Mac を本製品の無線 LAN に初めて接続する場合の操作について説明しています。iPad、iPod touch との無線 LAN 接続設定については、かんたんセットアップマニュアルポータブルデバイス編を参照してください。

WEP の暗号化方式に対応している無線 LAN 端末を接続するには

マルチ SSID 機能 (SSID2) を有効にすると、ゲーム機など WEP のみに対応した無線 LAN 端末と WPA に対応したパソコンなどの無線 LAN 端末を混在して同時に利用することができます。ゲーム機など、「WEP」に対応している無線 LAN 端末を接続する場合は、マルチ SSID 機能を有効にして、SSID2 に接続してください。

- マルチ SSID 機能を有効にすると、本体ディスプレイに  が表示されます。


注意

- お買い上げ時、マルチ SSID 機能は無効になっています。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台 (SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台) となります。
- マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。マルチ SSID で複数の暗号化方式の無線 LAN 端末を接続する場合は、3G/LTE 回線を利用してインターネット接続する必要があります。詳しくは、71 ページ「ネットワーク選択設定」、79 ページ「Wi-Fi (WAN) 設定」、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

説明

- これらの設定は、初めて接続するときに行います。いったん設定した後は、本製品と無線 LAN 端末の無線 LAN 機能をオンにするだけで、自動的に接続が再開されます (無線 LAN 機器側で、自動的に再接続する設定がされている場合)。
- 対応する Web ブラウザを搭載した無線 LAN 端末であれば、必要に応じて無線 LAN 機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、61 ページ「4 各種機能を設定する」を参照してください。
- 通信の安全性を確保するため、お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) を変更してお使いになるようお勧めします。

無線 LAN 機能をオンにするには


本製品の電源を入れると、自動的にインターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになります。本体ディスプレイにが表示されていることを確認します。

無線 LAN 接続数が 0 になって 10 分経過すると、自動的に無線 LAN がオフになります (工場出荷状態)。無線 LAN を再接続するときは、電源 / Wi-Fi ボタン (⏻ / Wi-Fi) を約 1 秒押すと無線 LAN 機能がオンになります。



PSVITAを接続する

画面表示や手順は、無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PSVITA の取扱説明書などを参照してください。

説明

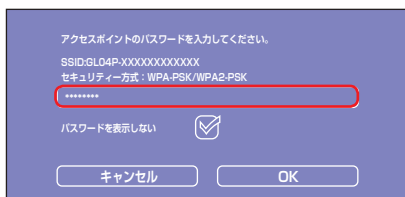
- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

2 無線 LAN で接続する

1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押しして電源を入れます。
インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. PSVITA のホーム画面から、「設定」→「はじめる」→「ネットワーク」→「Wi-Fi 設定」の順に選択します。
3. 「Wi-Fi」にチェックを付けます。
4. 「アクセスポイント」の一覧画面から本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。



5. WPA キーを正しく入力し、「OK」をタップします。



6. Wi-Fi 設定画面に戻ったら、本製品の「SSID1」が Wi-Fi で接続されていることを確認します。
接続が確認できたら設定完了です。

ニンテンドー3DS / DSi / DS / DS Lite を接続する

手順は、無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。

※ニンテンドー DS / DS Lite をお使いの場合は、暗号化方式が「WPA/WPA2」では接続できません。マルチ SSID 機能を有効に設定すると、セキュリティ設定が異なる無線 LAN 端末を同時に接続できるようになります。

※ニンテンドー DS / DS Lite では、ニンテンドー Wi-Fi コネクション対応ソフトが必要になります。

※本書に記載されているニンテンドー 3DS / DSi / DS / DS Lite の接続方法は、イー・アクセス株式会社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

注意

- 無線 LAN 設定の暗号化方式を変更すると、すでに接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなりますのでご注意ください。
- 本製品がインターネットに接続していることを確認してください。インターネットに接続されていないと、Wi-Fi コネクションに接続できません。

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン(🔑)を 2 回押すと、SSID 1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID 2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

1. 本製品の電源 / Wi-Fi ボタン (🔌 / Wi-Fi) を約 5 秒押し電源を入れます。
インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり **Wi-Fi** が表示されます。
2. メニューを表示して、次の順番に項目をタッチします。
 - ニンテンドー DS / DS Lite では、ニンテンドー Wi-Fi コネクション対応ソフトを起動し、「Wi-Fi コネクション設定」画面を表示します。
 - 操作方法については、各ソフトの取扱説明書を参照してください。
 - ニンテンドー DSi をご利用の場合、DS 専用ソフトでは「上級者設定」を使った接続は使用できません。
 - **ニンテンドー 3DS の場合**
「本体設定」→「はじめる」→「インターネット設定」→「インターネット接続設定」→「接続先の登録」→「自分で設定する」
 - **ニンテンドー DSi の場合**
「本体設定」→「インターネット」→「接続設定」→「上級者設定」→「未設定」と表示されている接続先の 1 つをタッチ
 - **ニンテンドー DS / DS Lite の場合**
「Wi-Fi 接続先設定」→「未設定」と表示されている接続先の 1 つをタッチ
3. 「アクセスポイントを検索」をタッチします。
4. 一覧画面から本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX) が表示されている項目をタッチします。
5. WPA キーを正しく入力し、「決定」または「OK」をタッチします。
 - ニンテンドー DS / DS Lite では、WEP キーを入力します。
6. 「はい」または「OK」をタッチします。
7. 「はい」または「OK」をタッチします。
接続テストが始まります。「接続に成功しました。」または「接続テストに成功しました。」が表示されたら設定完了です。


2 無線 LAN で接続する



PSPを接続する

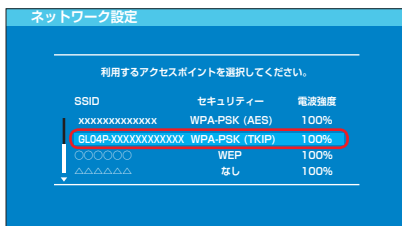
画面表示や手順は、PSP-2000/PSP-3000 で、無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。PSP-1000^{*}を使用した場合や、その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PSP の取扱説明書などを参照してください。

^{*}PSP-1000のシステムソフトウェアver.1.52以前では、一部手順が異なります。

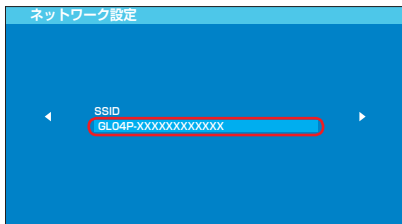
説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押しすると、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

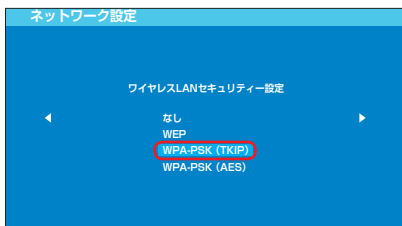
1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押しして電源を入れます。インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. PSP のワイヤレス LAN スイッチをオンにします。
3. PSP のホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」の順に選択し、○ボタンを押します。
4. 「インフラストラクチャーモード」を選択し、○ボタンを押します。
5. 「[新しい接続の作成]」を選択し、○ボタンを押します。
 - ・PSP-1000 の場合は、この後、接続名を入力して方向キー「▷」を押します。
6. 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押します。
7. 一覧画面から本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX) が表示されている項目を選択し、○ボタンを押します。



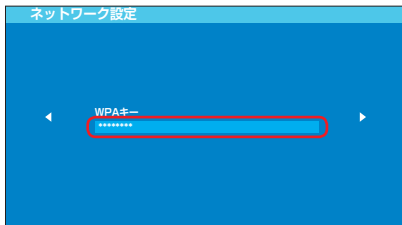
8. 表示された SSID を確認し、方向キー「▷」を押します。



9. 「WPA-PSK (TKIP)」を選択し、方向キー「▷」を押します。



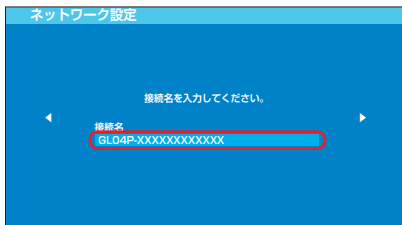
10. ○ボタンを押して WPA キーを正しく入力し、方向キー「▷」を押します。



11. 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押します。

12. 接続名を確認し、方向キー「▷」を押します。

- PSP-1000 の場合、この画面は表示されません。手順 13 へお進みください。

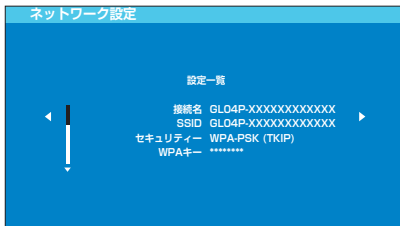


説明

接続名は変更することができます。○ボタンを押して入力画面を表示させ、任意の接続名を入力して設定してください。

2 無線 LAN で接続する

13. 設定一覧を確認し、方向キー「▷」を押します。



14. ○ボタンを押します。

設定が保存されます。

15. 保存が完了したら、○ボタンを押します。

接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。

Wiiを接続する

手順は、無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、Wii の取扱説明書などを参照してください。

※本書に記載されている Wii の接続方法は、イー・アクセス株式会社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂へのお問い合わせはご遠慮ください。

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン(🔑)を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。


1. 本製品の電源 / WiFi ボタン (🔌 / WiFi) を約 5 秒押し**て電源を入れます。**
インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり **WiFi** が表示されます。
2. Wii メニュー画面から、「Wii」を選択します。
3. 「Wii 本体設定」を選択します。
4. 「▷」を選択して、「Wii 本体設定 2」画面を表示させます。
5. 「インターネット」を選択します。
6. 「接続設定」を選択します。
7. 「未設定」と表示されている接続先の 1 つを選択します。
8. 「Wi-Fi 接続」を選択します。
9. 「アクセスポイントを検索」を選択します。



10. 「OK」を選択します。
11. 一覧画面から本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。
12. WPA キーを正しく入力し、「OK」を選択します。
13. 「OK」を選択します。
14. 「OK」を選択します。
接続テストが始まります。
「接続に成功しました。」が表示されたら設定完了です。

PS3を接続する

画面表示や手順は、無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PS3 の取扱説明書などを参照してください。

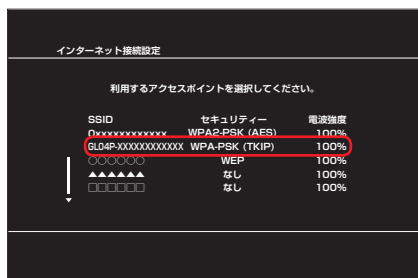
説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

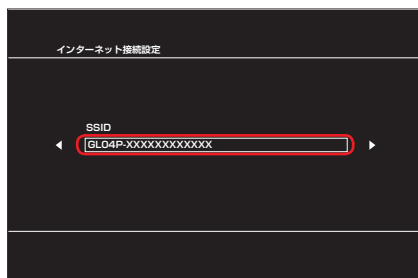
1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押し、電源を入れます。
インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. PS3 のホームメニュー画面から、「設定」→「ネットワーク設定」→「インターネット接続設定」の順に選択します。
3. 「OK」または「はい」を選択し、○ボタンを押します。
4. 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押します。
5. 「無線」を選択し、方向キー「▷」を押します。
6. 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押します。

2 無線 LAN で接続する

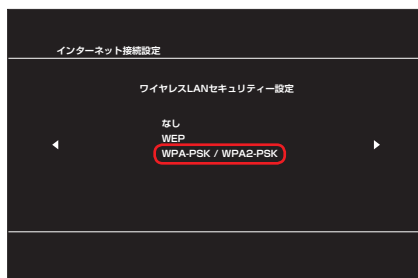
7. 一覧画面から本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択し、○ボタンを押します。



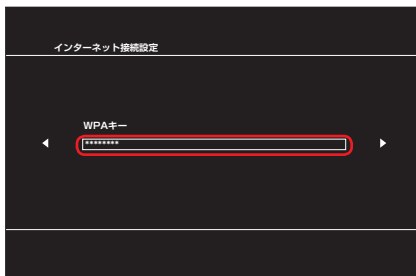
8. 表示された SSID を確認し、方向キー「▶」を押します。



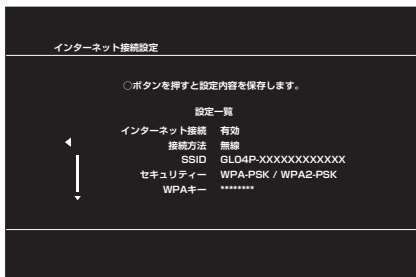
9. 「WPA-PSK / WPA2-PSK」を選択し、方向キー「▶」を押します。



10. ○ボタンを押して WPA キーを正しく入力し、方向キー「▶」を押します。



11. 設定一覧を確認し、○ボタンを押します。
設定が保存されます。



12. 保存が完了したら、○ボタンを押します。
接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。


WPS対応の無線LAN端末を接続する




注意

- WPS 機能の設定方法は、機器によって異なります。お使いの無線 LAN 端末に添付されている取扱説明書などを参照してください。
- WPS 機能を実行して無線 LAN 端末と接続する場合は、「SSID1」に接続されます。
- 本製品の SSID ステルス機能が有効になっていると WPS 機能は使用できません。SSID ステルス機能については、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。
- 暗号化方式が WEP または暗号化なしに設定してある状態で WPS ボタンを約 10 秒押すと、WPS 機能が開始され暗号化方式が WPA に変更されます。それ以前に WEP または暗号化なしで使用していた無線 LAN 端末は暗号化方式を WPA に変更する必要があります。
- WPS 機能開始後、約 2 分の間に機器の接続がない場合には、暗号化方式が元の設定に戻ります。

2 無線 LAN で接続する

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン () を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押しして電源を入れます。
インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. 無線 LAN 端末の無線 LAN 機能をオンにし、必要に応じて WPS 設定の準備操作を行います。
3. 本製品の WPS ボタンを約 10 秒押します。
WPS 機能がオンになります。ディスプレイには、WPS 設定状態を示すアイコンがアニメーション表示されます (25 ページ)。
4. 無線 LAN 端末で WPS 機能の接続操作を行います。
設定に成功すると、  が表示されます。
 - お使いの無線 LAN 端末によって操作は異なります。
5. 無線 LAN 端末でその他の設定が必要な場合には、画面表示に従って設定操作を行ってください。

説明

お使いの WPS 対応の無線 LAN 端末に WPS 用の PIN コードが指定されている場合には、「WPS PIN」を使って設定することができます。84 ページ「WPS 設定」を参照してください。また、「WPS PIN」を設定すると、自動的に本製品の WPS 機能がオンになります。約 2 分以内に、無線 LAN 端末で WPS 機能の接続操作を行ってください。

Windowsパソコンを接続する

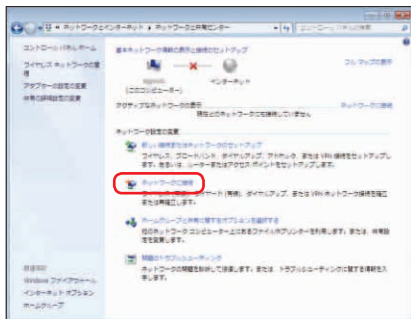
画面表示や手順は Windows 7 で、本製品の無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。

※ OS 標準の接続設定機能を例にして説明しています。

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン()を 2 回押すと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

1. 本製品の電源 / WiFi ボタン () / WiFi) を約 5 秒押しして電源を入れます。インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり **WiFi** が表示されます。
2. パソコンの無線 LAN 機能をオンにします。
 - パソコンの無線 LAN 機能をオンにする方法は機種ごとに異なりますので、各パソコンメーカーに確認してください。
3. 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順に選択します。
 - Windows XP をお使いの場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順に選択します。
 - コントロールパネルの表示方式によっては、直接選択できる場合もあります。
4. 「ネットワークに接続」をクリックします。



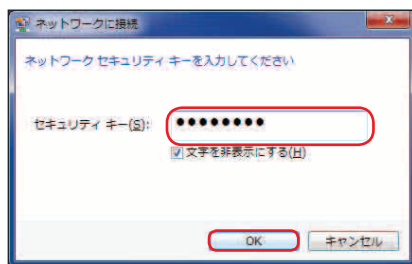
- Windows XP をお使いの場合は、「ワイヤレス ネットワーク接続」をダブルクリックします。


2 無線 LAN で接続する

5. 本製品の「SSID1」(GL04P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目をクリックして選択し、「接続」をクリックします。



6. WPA キーを「セキュリティ キー」に正しく入力し、「OK」をクリックします。






- 手順 3～4、またはタスクトレイの  アイコンをクリックして接続状態の画面を開き、本製品の SSID1 が接続されていることを確認します。
 - Windows Vista をお使いの場合は「接続」をクリックします。「GL04P-XXXXXXXXXXXX に正しく接続しました」と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックします。
 - Windows XP をお使いの場合は、「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」に WPA キーを正しく入力し、「接続」をクリックします。
7. デスクトップで Web ブラウザアイコンをクリックするとインターネットをご利用になれます。

Macを接続する

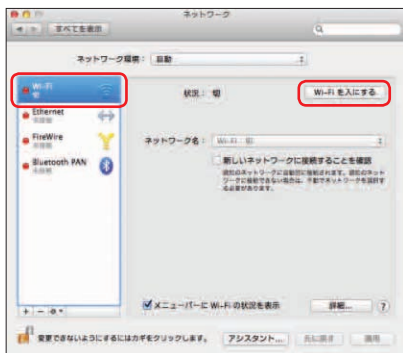
画面表示や手順は Mac OS X 10.7 で、本製品の無線 LAN 設定の暗号化方式が「WPA」で「SSID1」に接続する場合を例にして説明しています。

説明

- ネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。SSID や暗号化キーを変更した場合は、設定しているネットワーク名 (SSID)、暗号化キーを利用してください。
- 本製品の WPS ボタン() を 2 回押しすと、SSID1 のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WPA キーまたは WEP キー) が順に表示されます。マルチ SSID 機能が有効の場合は、続けて SSID2 のネットワーク名 (SSID) / 暗号化キーが順に表示されます。暗号化キーの表示を無効に設定することもできます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。

1. 本製品の電源 / WiFi ボタン ( / WiFi) を約 5 秒押し電源を入れます。インターネットに接続され、無線 LAN 機能がオンになり  が表示されます。
2. アップルメニューから「システム環境設定 ...」をクリックし、「ネットワーク」をクリックします。
3. 「Wi-Fi」をクリックし、「Wi-Fi を入にする」をクリックして無線 LAN 機能をオンにします。

47

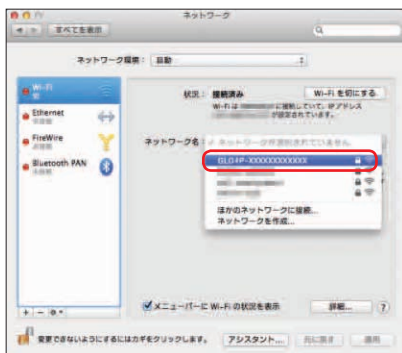


説明

「新しいネットワークに接続することを確認」にチェックが入っていると、Wi-Fi を入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、キャンセルをクリックして「ネットワーク」の画面に戻ってください。

2 無線 LAN で接続する

4. 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品の「SSID1」(GLO4P-XXXXXXXXXXXX)が表示されている項目を選択します。



5. WPA キーを「パスワード」欄に正しく入力し、「このネットワークを記憶」をクリックしてチェックマークを付け、「接続」をクリックします。



6. 「ネットワーク名」が本製品の「SSID1」(GLO4P-XXXXXXXXXXXX)に、「状況」が「接続済み」になっていることを確認します。
7. デスクトップで Web ブラウザアイコンをクリックすると、インターネットをご利用になれます。

3 USBケーブルで接続する

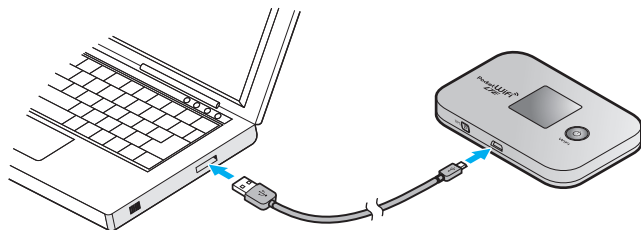
Windows パソコンに接続する	50
EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする	51
Windows パソコンから取り外す	53
EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する場合.....	55
Mac に接続する	56
EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする	57
Mac から取り外す	59
EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する場合	60

3 USB ケーブルで接続する

Windows パソコンに接続する

画面表示は Windows 7 を例としています。

1. EM chip を取り付けられた本製品の USB コネクタに USB ケーブルを接続します。
2. USB ケーブルのもう一方のコネクタをパソコンの USB ポートに接続します。
パソコンがデータ通信カード（本製品）を認識します（パソコンが本製品を認識するまで約 45 秒かかります）。



- 本製品を初めて接続したときは、EMOBILE GLO4P ドライバのインストールを行います。

注意

本製品をパソコンに取り付けたままで、スタンバイ（サスペンド／レジューム）機能や休止（ハイバネーション）機能、再起動を実行しないでください。正常に動作しない場合があります。それぞれの機能を実行する場合は、本製品を取り外してから行ってください。

EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする

本製品とパソコンを USB ケーブルで接続してデータ通信を行う場合、EMOBILE GLO4P ドライバのインストールが必要です。本製品をパソコンに初めて接続したときは、以下の操作を行います。

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動し、本製品をパソコンに接続します。
2. 「AutoRun.exe の実行」をクリックします。

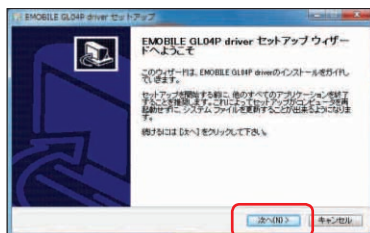


- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」（Windows Vista の場合は「許可」）をクリックします。
- Windows XP の場合、「自動再生」および「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。次の手順に進んでください。

3. 「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をクリックします。

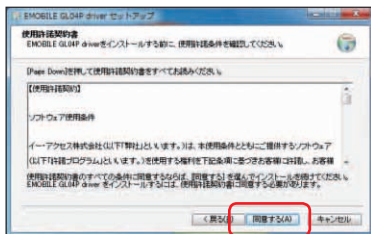


4. 「次へ」をクリックします。

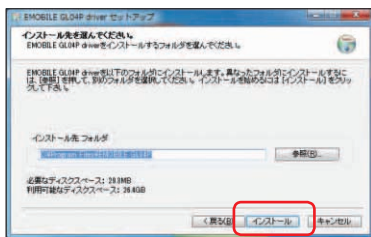


3 USB ケーブルで接続する

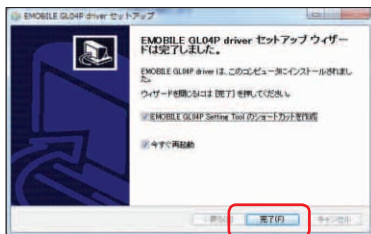
5. 「同意する」をクリックします。



6. 「インストール」をクリックします。



7. 「完了」をクリックします。



再起動後、デスクトップに「EMOBILE GLO4P Setting Tool」のショートカットアイコンが表示されたらインストールが完了です。

インストーラーが自動起動しなかったときは

本製品を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

1. 「スタート」→「コンピューター」(Windows Vista の場合は「コンピューター」、Windows XP の場合は「マイコンピュータ」)をクリックします。
2. 「EMOBILE GLO4P」をダブルクリックします。
 - ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vista の場合は「許可」)をクリックします。
 - ・Windows XP の場合、「自動再生」および「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。次の手順に進んでください。

以降は、51 ページ「EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする」手順 3 からを参照してください。

注意

- ・インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。
- ・管理者権限(Administrator)でログインしてください。管理者権限の確認方法は 131 ページを参照してください。

Windows パソコンから取り外す


本製品をパソコンから取り外すときは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。また、microSD カードに保存されているファイルが破損するおそれがあります。

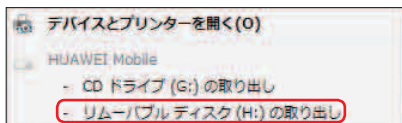
注意

データ通信中は本製品を取り外さないでください。

● Windows 7 の場合


データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外します。

- ・microSDカードが取り付けられていて、「microSD設定」が「USBマスタストレージモード」の場合は、タスクトレイのをクリックし、「リムーバブルディスクの取り出し」をクリックします。安全に取り外し可能なことが表示されてから、本製品を取り外してください。



● Windows Vista および Windows XP の場合

「ハードウェアの安全な取り外し」機能でデバイスの動作を停止させてから、本製品をパソコンから取り外します。

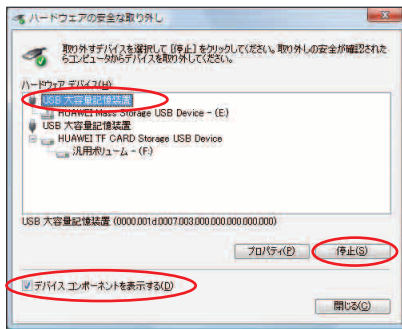
1. タスクトレイのをダブルクリックします。「ハードウェアの安全な取り外し」の画面が表示されます。

説明

Windows XP をお使いの場合、タスクトレイのをダブルクリックしてください。

3 USB ケーブルで接続する

2. 「USB 大容量記憶装置」を選択して、「停止」をクリックします。



USB メモリを接続している場合など、複数の「USB 大容量記憶装置」が表示されている場合は、画面左下の「デバイスコンポーネントを表示する」のチェックを付けると、本製品を表す「USB 大容量記憶装置」を確認することができます。

下記が表示されている「USB 大容量記憶装置」のどちらか一方を選択して、「停止」をクリックしてください。

- ・ HUAWEI Mass Storage USB Device
- ・ HUAWEI TF CARD Storage USB Device

「ハードウェアデバイスの停止」の画面が表示されます。

3. デバイスがパソコンから安全に取り外し可能なことを確認して、「OK」をクリックします。



「ハードウェアの安全な取り外し」の画面に戻ります。もう一つの「USB 大容量記憶装置」についても手順 2～3 の操作を行います。

4. 本製品が安全に取り外し可能なことが表示されたら、パソコンから USB ケーブルを取り外します。
5. 本製品から USB ケーブルを取り外します。

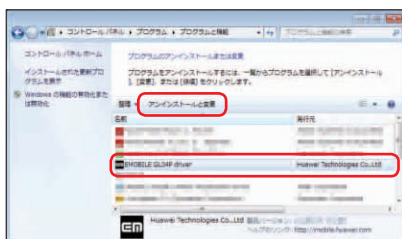
EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する場合

インストールした EMOBILE GLO4P ドライバを利用しなくなった場合は、パソコンからドライバをアンインストール（削除）します。

注意

- 本操作は、Windows パソコンから、EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する操作です。アンインストール（削除）すると USB 接続での通信が利用できなくなります。
- アンインストール（削除）してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

1. 「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラム」→「プログラムのアンインストール」の順に選択します。
 - Windows XP の場合は、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に選択します。
2. 「EMOBILE GLO4P driver」を選択して「アンインストールと変更」をクリックします。

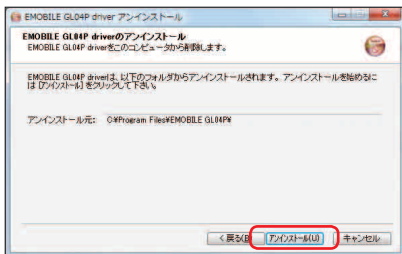


- Windows XP の場合は、「EMOBILE GLO4P driver」を選択して「変更と削除」をクリックします。
 - 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」（Windows Vista の場合は「続行」）をクリックします。
 - Windows XP の場合は「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。
3. 「次へ」をクリックします。

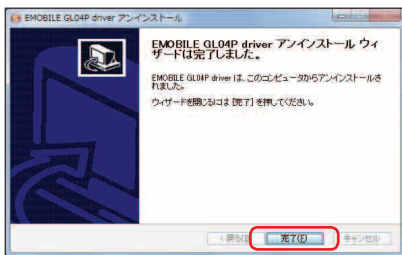


3 USB ケーブルで接続する

4. 「アンインストール」をクリックします。



5. 「完了」をクリックします。

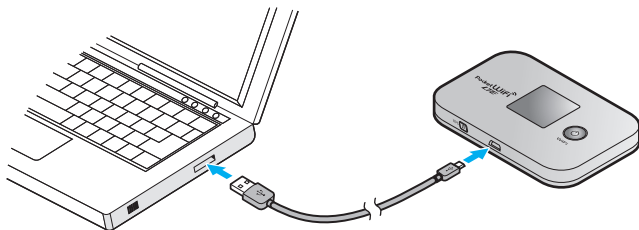


デスクトップから EMOBILE GLO4P Setting Tool のショートカットアイコンが消去されたら、アンインストールが完了です。

Mac に接続する

画面表示や手順は Mac OS X 10.7 を例としています。

1. EM chip を取り付けられた本製品の USB コネクタに USB ケーブルを接続します。
2. USB ケーブルのもう一方のコネクタを Mac の USB ポートに接続します。



- 本製品を初めて接続したときは、EMOBILE GLO4P ドライバのインストールを行います。

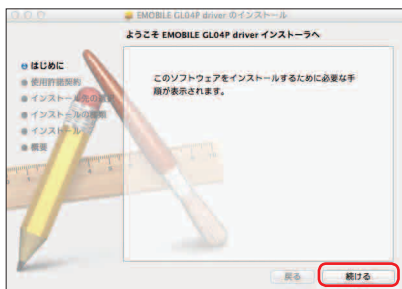
注意

本製品を Mac に取り付けただけでスリープ機能、再起動を実行しないでください。正常に動作しない場合があります。それぞれの機能を実行する場合は、本製品を取り外してから行ってください。

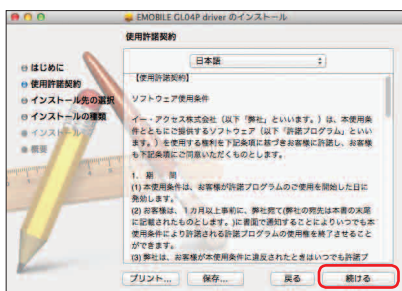
EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする

本製品を Mac に初めて接続したときは、EMOBILE GLO4P ドライバのインストールを行います。

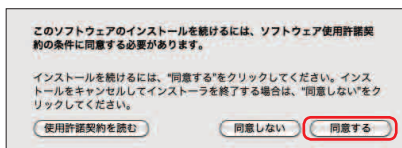
1. パソコンの電源を入れ、OS を起動し、本製品をパソコンに接続します。
デスクトップにショートカットアイコンが表示され、「EMOBILE GLO4P」フォルダが自動的に開きます。
2. 「EMOBILE GLO4P driver」をダブルクリックします。
3. 「続ける」をクリックします。



4. 「続ける」をクリックします。



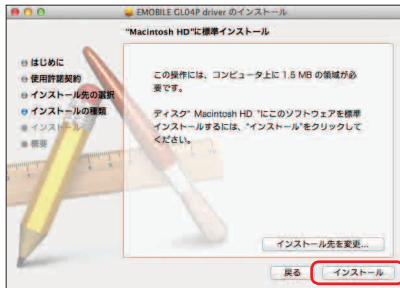
5. 「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックします。

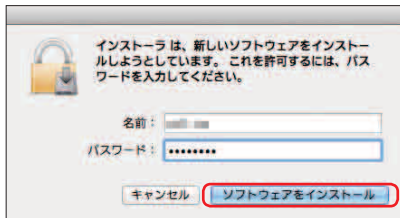
3 USB ケーブルで接続する

6. 「Macintosh HD」に標準インストール」の画面が表示されたら「インストール」をクリックします。

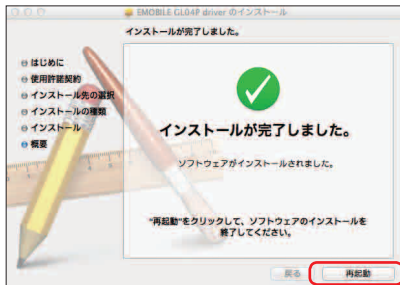


・「Macintosh HD」はハードディスクの名称です。ご使用の環境によって表示される名称は異なります。

7. お使いの Mac の名前（ユーザ名）とパスワードを入力して、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。




8. 「再起動」をクリックします。



再起動後、Dock に「EMOBILE GL04P Setting Tool」のショートカットアイコンが表示されたらインストールが完了です。

インストーラーが自動起動しなかったときは

本製品を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。

1.  → 「デバイス」 → 「EMOBILE GLO4P」をクリックします。
2. 「EMOBILE GLO4P driver」をダブルクリックします。
以降は、57 ページ「EMOBILE GLO4P ドライバをインストールする」手順 3 からを参照してください。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意



- ・ インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。
- ・ 管理者権限(Administrator)でログインしてください。管理者権限の確認方法は 131 ページを参照してください。

Mac から取り外す

本製品を Mac から取り外すときは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。また、microSD カードに保存されているファイルが破損するおそれがあります。


注意

データ通信中は本製品を取り外さないでください。

1.  をクリックして、Finder の画面を表示させます。
2. 「デバイス」の一覧で本製品の取り出しアイコン () をクリックします。
 - ・ デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱へドラッグしても取り出せます。



注意

本製品に microSD カードが取り付けられている場合は、先に microSD カードの取り出しアイコン () をクリックしてから、本製品の取り出しアイコンをクリックして取り外してください。

3 USB ケーブルで接続する

3. Mac から USB ケーブルを取り外します。
4. 本製品から USB ケーブルを取り外します。

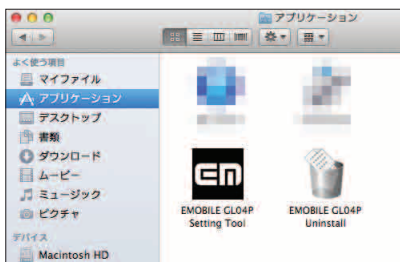
EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する場合

インストールした EMOBILE GLO4P ドライバを利用しなくなった場合は、Mac からドライバをアンインストール（削除）します。

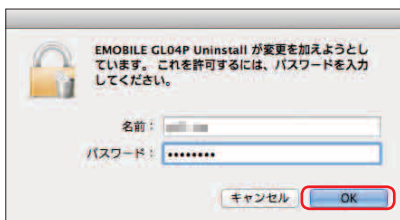
注意

- 本操作は、Mac から、EMOBILE GLO4P ドライバをアンインストール（削除）する操作です。アンインストール（削除）すると USB 接続での通信が利用できなくなります。
- アンインストール（削除）してしまった場合、再度ご利用になるには、もう一度インストールする必要があります。

1. アプリケーションの画面を表示させます。
2. 「EMOBILE GLO4P Uninstall」アイコンをダブルクリックします。



3. アンインストール確認メッセージが表示された場合は「OK」をクリックします。
お使いの Mac の名前（ユーザ名）とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



- アンインストール完了メッセージが表示された場合は「OK」をクリックします。Dock から EMOBILE GLO4P Setting Tool ショートカットアイコンが消去されたら、アンインストールが完了です。

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツールについて	62
GLO4P 設定ツールを起動する.....	62
GLO4P 設定ツールトップページ.....	63
GLO4P 設定ツール設定画面	64
かんたん設定	65
インターネットや無線LANの情報を確認する (基本情報)	69
各種機能の詳細設定をする (設定)	70
WAN 設定.....	71
無線 LAN 設定.....	80
セキュリティに関する機能の設定をする (ファイアウォール設定)....	86
システム設定	97
microSD 設定.....	101
サポート情報を確認する (ヘルプ)	102
ローミング設定をする	102
受信したメッセージを確認する	103
microSD カードの情報を確認する	105
モバイル機器用設定ツールについて	106
モバイル機器用設定ツールを起動する.....	106
基本情報を確認する.....	109
かんたん設定を使用する	110
マルチ SSID 設定をする.....	116
ローミング設定をする.....	119
オンラインアップデートを使用する.....	120
microSD 設定をする	122
受信したメッセージを確認する	123
microSD カードの情報を確認する	124

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツールについて

本製品に無線 LAN または USB ケーブルで接続したパソコンやモバイル機器から、Web ブラウザを使用して本製品の各種機能を設定することができます。

無線 LAN 接続で GLO4P 設定ツールを使用する場合、「SSID1」に接続してください。「SSID2」に接続している場合は、GLO4P 設定ツールを使用することはできません。

● モバイル機器からアクセスする

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスする場合は、106 ページ「モバイル機器用設定ツールについて」も参照してください。

注意

- 無線 LAN で接続したパソコンやモバイル機器から、GLO4P 設定ツールで「無線 LAN 設定」など無線 LAN 接続に関する設定を変更すると、無線 LAN の接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンやモバイル機器の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- GLO4P 設定ツールを複数の機器で同時に表示／設定することはできません。

説明

GLO4P 設定ツールは、以下の Web ブラウザに対応しています。

Windows : Microsoft Internet Explorer 6, 7, 8, 9, 10

Mac OS : Safari 3, 4, 5, 6

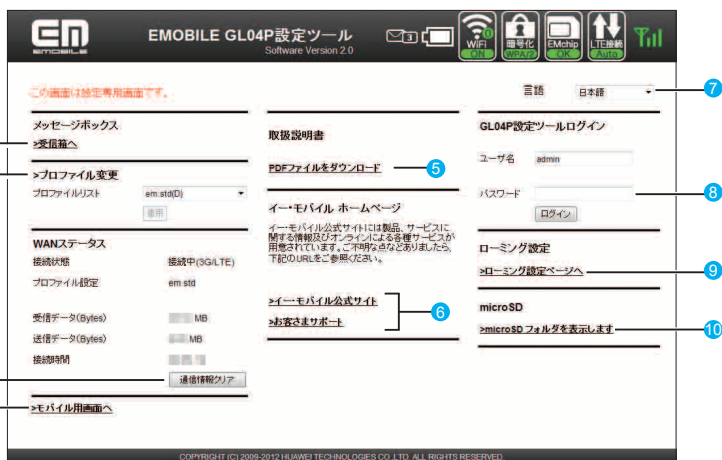
GLO4P 設定ツールを起動する

画面表示や手順は、GLO4P 設定ツールに対応する Web ブラウザを搭載したパソコン (Windows 7) を例にして説明しています。

- パソコンを起動し、本製品と無線 LAN または USB ケーブルで接続します。
- Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://pocketwifi.home」と入力します。GLO4P 設定ツールのトップページが表示されます。
 - EMOBILE GLO4P 設定ツールをインストールしているパソコンと接続している場合は、EMOBILE GLO4P Setting Tool ショートカットアイコン (Windows パソコンはデスクトップ上、Mac は Dock に表示) をダブルクリックしても設定ツールを起動できます。
- パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。
 - お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、「admin」に設定されています。
 - ユーザ名は「admin」で固定されています。ユーザ名の変更はできません。
 - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

ログインに成功すると、GLO4P 設定ツール **かんたん設定画面**が表示されます。詳しくは、65 ページ「かんたん設定」を参照してください。

GLO4P 設定ツールトップページ



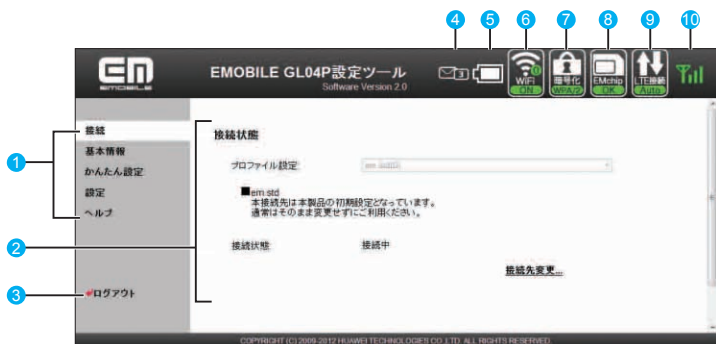
- 1 **メッセージボックス 受信箱へ**
受信したメッセージを表示します (103 ページ)。
- 2 **プロファイル変更**
プロファイルを変更します。
- 3 **通信情報クリア**
送受信データ量／接続時間のカウンタを 0 に戻します。
- 4 **モバイル用画面へ**
iPod touch など、モバイル機器用の設定ツール画面を表示します (106 ページ)。
- 5 **取扱説明書 PDF ファイルをダウンロード**
本書をダウンロードします。
- 6 **イー・モバイル公式サイト／お客さまサポート**
イー・モバイルの公式サイト、およびお客さまサポートを表示します。ページを表示するにはインターネットへの接続が必要です。
- 7 **言語**
設定ツールの表示言語を切り替えます。
- 8 **パスワード**
パスワードを入力して、設定ツールにログインします。
- 9 **ローミング設定**
海外でのデータ通信を設定します (102 ページ)。
- 10 **microSD フォルダを表示します**
microSD カードの情報を表示します (105 ページ)。

注意

- 通信の安全性を高めるために、お買い上げ時のパスワードは変更することをお勧めします。変更方法については、97 ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。
- 約 5 分間、GLO4P 設定ツールが操作されない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

4 各種機能を設定する

GLO4P 設定ツール設定画面



1 メニューリスト

メニュー項目をクリックして、設定ページを切り替えます。

2 設定ページ

各機能の設定／情報画面、またはアイコンメニューが表示されます。

3 ログアウト

クリックして GLO4P 設定ツールからログアウトします。

4 メッセージ受信アイコン

メッセージ受信時に、未読のメッセージ数が表示されます。

- ・ : 未読のメッセージが 10 件以上ある場合
- ・ : メッセージがいっぱいで、これ以上受信できない場合

5 電池残量表示

- ・ : 電池残量「多い」⇒「少ない」

6 無線 LAN 状態表示、接続台数表示

- ・ : 無線 LAN が無効
- ・ : 無線 LAN が有効 (丸内の数字は接続台数)

7 暗号化方式表示





現在の無線 LAN 暗号化方式を表示します。

- ・ : WPA/WPA2
- ・ : WPA2
- ・ : WPA
- ・ : WEP
- ・ : 暗号化なし

8 EM chip アイコン


- ・ : 有効な EM chip が取り付けられています。
- ・ : EM chip が取り付けられていません。または EM chip が無効になっています。

9 WANアイコン／Wi-Fi (WAN) アイコン

- ・ : LTE ネットワークでインターネット接続中 (インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示)
- ・ : 3G ネットワークでインターネット接続中 (インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示)
- ・ : Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「弱」
- ・ : Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「強」

10 SIGアイコン

3G / LTE ネットワークの現在の受信レベルを表示します。

- ・  ⇔  : 受信レベル「強」⇔「弱」
- ・  外 : 圏外

かんたん設定

設定ツールにログインすると、かんたん設定が表示されます。かんたん設定は、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～5 のステップで簡単に行うことができます。かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

注意

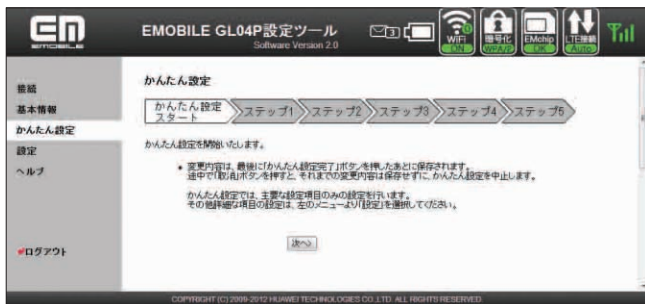
- ・ 変更内容は、最後に「かんたん設定完了」ボタンを押した後に保存されます。途中で「取消」ボタンを押すと、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- ・ かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、設定ツールのメニューリストから「設定」を選択してください。

65

説明

設定ツールにログインすると、必ずかんたん設定画面が表示されます。既に本製品の設定が済んでいる場合は、設定ツールのメニューリストから表示したい項目を選択してください。

1. かんたん設定スタート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



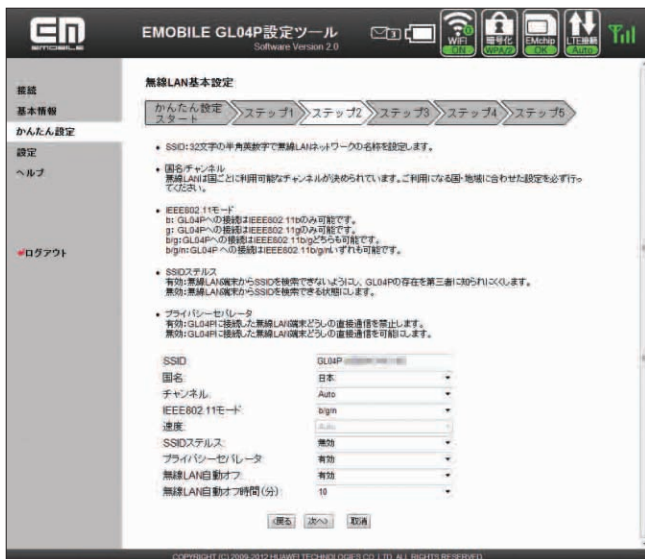
4 各種機能を設定する

2. ステップ1が表示されます。ステップ1では接続モード（プロファイル）を設定します。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。
詳しくは、76 ページ「接続モード設定」を参照してください。



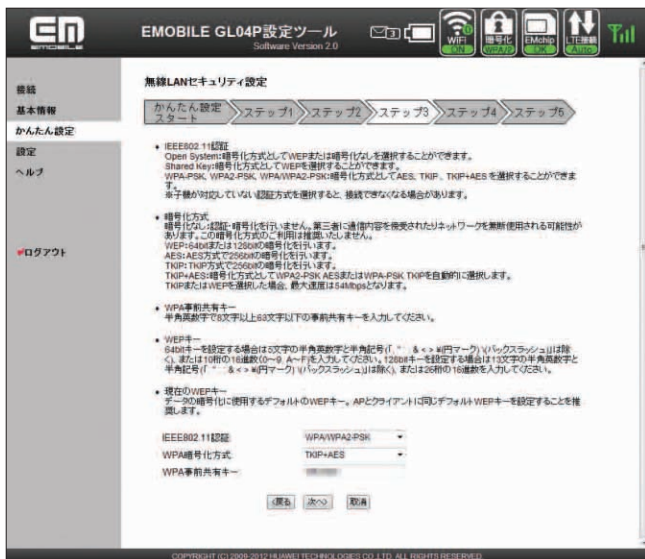
3. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。
詳しくは、81 ページ「無線LAN設定」を参照してください。

66



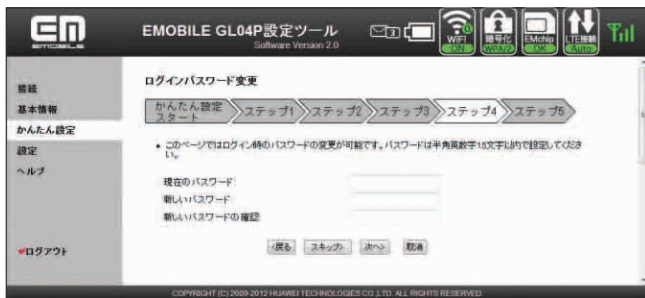
4. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をクリックします。

詳しくは、81ページ「無線LAN設定」を参照してください。



5. ステップ4が表示されます。ステップ4では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。現在の設定を変更しない場合は「スキップ」を、設定を変更する場合は項目に入力してから「次へ」をクリックします。

詳しくは、97ページ「ログインパスワード変更」を参照してください。

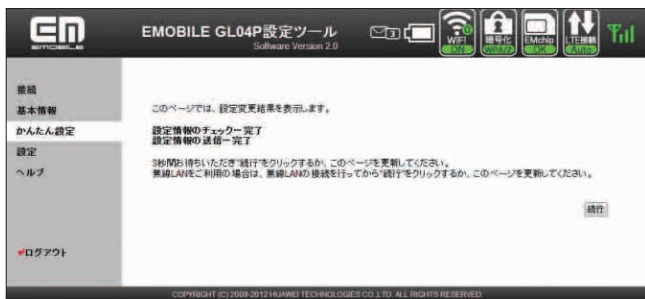


4 各種機能を設定する

6. ステップ5が表示されます。ステップ5ではここまで行った設定内容を表示します。設定内容を確認したら、「かんたん設定完了」をクリックして設定内容を保存します。
- 無線 LAN の再接続確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。



7. 「続行」をクリックして、かんたん設定を終了します。



注意

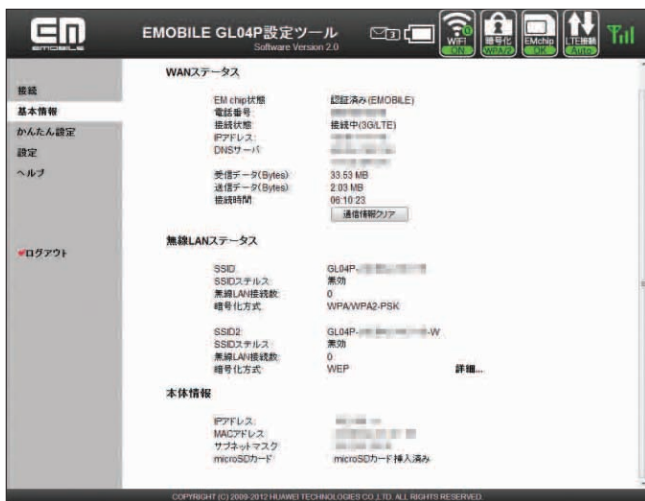
- 設定を変更後に引き続き設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。
- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。

インターネットや無線LANの情報を確認する(基本情報)

1. メニューリストから「基本情報」をクリックします。

インターネット(WANステータス)と無線LAN(無線LANステータス)、本体(本体情報)についての情報が表示されます。

画面右側の「詳細...」をクリックすると、無線LANの詳細な情報が表示されます。



注意

- 表示される受信データ/送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- 無線LAN接続の受信データ/送信データ量および接続時間はカウントされません。

説明

「通信情報クリア」ボタンをクリックすると、受信データ、送信データ、接続時間がリセットされます。

4 各種機能を設定する

各種機能の詳細設定をする（設定）

1. メニューリストから「設定」をクリックします。
アイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

- **WAN 設定**
インターネット接続や Wi-Fi（WAN）接続に関する詳細機能を設定します（71 ページ）。
- **無線 LAN 設定**
無線 LAN 機能に関する詳細機能を設定します（80 ページ）。
- **ファイアウォール設定**
ファイアウォールに関する詳細設定を設定します（86 ページ）。
- **システム設定**
システムに関する詳細機能を設定します（97 ページ）。
- **microSD 設定**
microSD カードの共有設定を行います（101 ページ）。

WAN 設定

インターネットに接続するための接続先や通信方式などを設定します。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (WAN 設定) をクリックします。
「WAN 設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ネットワーク選択設定

Wi-Fi (WAN) 接続を優先的に利用するかどうか設定します。

- ・マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。「3G/LTE のみ」のときは Wi-Fi (WAN) のネットワークを検出しません。また、「Wi-Fi (WAN) 優先」のときはマルチ SSID を設定できません。



4 各種機能を設定する

● Wi-Fi (WAN) を優先する

1. 「Wi-Fi (WAN) 優先」を選択します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
 - ・引き続き、Wi-Fi(WAN)のプロファイル(接続先)を登録します。詳しくは、79 ページ「Wi-Fi (WAN) 設定」を参照してください。

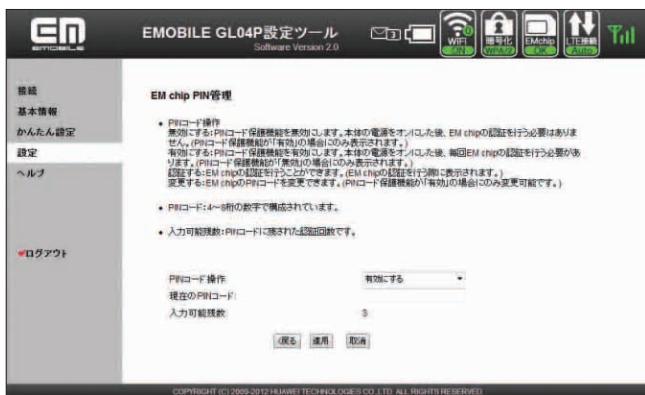
● 3G / LTE 接続に設定する

マルチ SSID 機能を有効にした場合など、Wi-Fi (WAN) に接続しないように設定します。

1. 「3G / LTE のみ」を選択します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

EM chip PIN 管理

PIN (Personal Identification Number) とは、EM chip が不正に利用されることを防ぐために使われるパスワードです。PIN 認証の有効/無効の設定、PIN コードの認証や変更などを行うことができます。



● 有効/無効にする場合

1. 「現在の PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 変更する場合 (有効のとき)

1. 「PIN コード操作」から「変更する」を選択します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PIN コード操作	適用する操作を選択します。	有効にする、無効にする、 認証する、変更する	(なし)
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを 入力します。	4～8桁の数字	(なし) *
新しい PIN コード	PIN コードを変更する場合に、新 しい PIN コードを入力します。	4～8桁の数字	(なし)
新しい PIN コードの 確認	確認のため、新しい PIN コードを 再入力します。	4～8桁の数字	(なし)
PUK コード	PIN ロック時に表示されます。 PIN ロック解除コード (PUK コード) を入力します。	8桁の数字	(なし)

※：お買い上げ時の EM chip の PIN コードは、「9999」に設定されています。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明

PIN コード入力を 3 回連続で間違えると PIN ロック状態になり、PIN ロックを解除するには、PIN ロック解除コードの入力が必要です。PIN ロック解除コード (PUK コード) については、お問い合わせ先(143 ページ)にご確認ください。また、PIN ロック解除コード(PUK コード)を 10 回連続で間違えると、完全ロック状態になります。完全ロック状態を解除するには、所定の手続きが必要になります。お問い合わせ先(143 ページ)にご連絡ください。手続きに伴い手数料が発生することがあります。

■ 認証を行う

PIN コード操作を有効に設定してから本製品の電源を入れると、本体ディスプレイに「PIN Lock」(25 ページ)と表示されます。PIN コード認証を行うまでインターネットに接続されませんので、以下の手順で PIN コード認証を行います。

● GLO4P 設定ツールで認証を行う

1. GLO4P 設定ツールのトップページでログインします。
2. メニューリストから「接続」をクリックします。
PIN 認証画面が表示されます。
・メニューリストから「設定」→「WAN 設定」→「EM chip PIN 管理」をクリックした場合は「PIN コード操作」が「認証する」に設定されています。
3. 「PIN コード」に正しい PIN コードを入力します。
4. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
インターネットに接続されます。

● モバイル機器用 GLO4P 設定ツールで認証を行う

1. モバイル機器でモバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページを表示し、ログインします。
PIN 認証画面が表示されます。

4 各種機能を設定する

2. 「PIN コード」に正しいPIN コードを入力し、「適用」ボタンをクリックします。
モバイル機器用 GLO4P 設定ツールにログインし、インターネットに接続されます。

説明 PIN コード入力に対応する Web ブラウザを搭載した機器でのみ可能です。無線 LAN 端末として PIN コードを入力できない端末のみを使用する場合には、PIN コード操作を無効に設定してください。



周波数選択設定

ネットワークを照会するときを選択される周波数を指定します。



1. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	選択される周波数を指定します。	自動、WCDMAのみ、LTEのみ	自動

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- 本製品を海外で使用する場合は、周波数の設定に関わらず自動的に WCDMA が使用されます。また海外から日本に戻った際は、それ以前の設定に関わらず「自動」に変更されます。
- 「LTEのみ」に設定されている場合、海外で自動的に WCDMA に切り替わらないことがあります。その場合は、「自動」または「WCDMAのみ」に設定しなおしてください。

ネットワーク検索設定

接続できるネットワークを検索する方法を設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
モード	検索モードを選択します。	自動、手動	自動
ネットワーク	モードで「手動」を選択し、「適用」ボタンをクリック後に表示されます。 利用可能なネットワークを選択し、「登録」を選択します。	(リスト項目)	(なし)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- 通常ご利用いただく場合は「自動」を選択してください。
- 海外の対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、手動で設定してください。

4 各種機能を設定する

接続モード設定

インターネットに接続するために、デフォルト（規定値）に設定するプロファイルや自動切断される時間を設定します。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	設定するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 16 件※ ¹	em.std
切断時間 (分) ※ ²	一定時間データの送受信がなかった場合に、インターネット接続が自動的に切断されるまでの時間を設定します。	5、10、15、30、60	10
MTU (Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400～1500	1500

※¹：お買い上げ時、本製品には以下の 2 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバル IP アドレスのご利用が可能な接続先です。

※²：LTE ネットワークでは、自動切断されません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

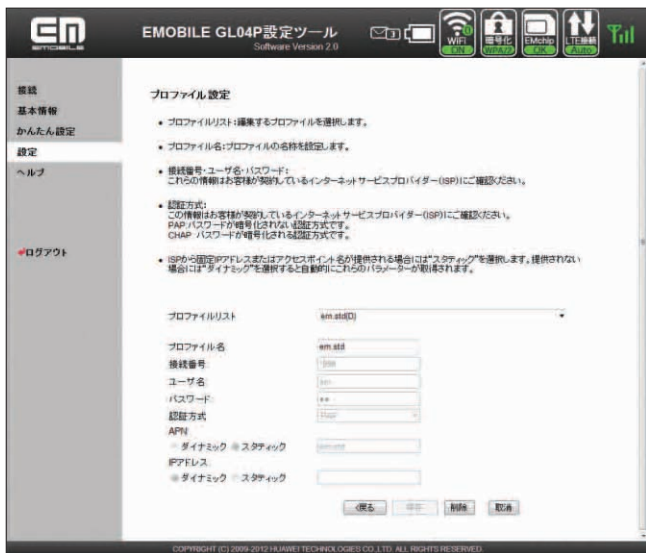
- インターネット接続切断確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。

注意 インターネット接続中にプロファイルリストを変更すると、接続が切断されます。

プロファイル設定

プロファイル（接続設定）を新規作成、編集、削除します。あらかじめ設定されている2つのプロファイル（em.std、em.gbl）以外に、最大14件までプロファイルを追加することができます。



The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main window is titled 'プロファイル設定' (Profile Setting). On the left, there is a navigation menu with options: '接続' (Connection), '基本情報' (Basic Information), 'かんたん設定' (Easy Setting), '設定' (Setting), 'ヘルプ' (Help), and 'ログアウト' (Logout). The '設定' (Setting) option is currently selected.

The main content area is titled 'プロファイル設定' and contains the following instructions:

- プロファイルリストに編集するプロファイルを選択します。
- プロファイル名(プロファイルの名前を設定します。
- 接続番号・ユーザ名・パスワード:
これらの情報はお客様が契約しているインターネットサービスプロバイダー(ISP)にご確認ください。
- 認証方式:
この情報はお客様が契約しているインターネットサービスプロバイダー(ISP)にご確認ください。
PAP: パスワードが暗号化されない認証方式です。
CHAP: パスワードが暗号化される認証方式です。
- ISPから固定IPアドレスまたはアクセスポイント名が提供される場合には「スタティック」を選択します。提供されない場合には「ダイナミック」を選択すると自動的にこれらのパラメータが取得されます。

Below the instructions, there is a 'プロファイルリスト' (Profile List) dropdown menu showing 'em.std(0)'. Underneath, there are input fields for 'プロファイル名' (Profile Name) with 'em.std' entered, '接続番号' (Connection Number), 'ユーザ名' (Username) with 'em', 'パスワード' (Password) with 'em', and '認証方式' (Authentication Method) with 'PAP'. There are also radio buttons for 'APN' (Dial-up / Static IP) and 'IPアドレス' (Dynamic IP / Static IP). At the bottom, there are buttons for '<戻る' (Back), '保存' (Save), '削除' (Delete), and '取消' (Cancel).

At the very bottom of the window, the copyright notice reads: 'COPYRIGHT (C) 2009-2012 HARBET TECHNOLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

4 各種機能を設定する

● プロファイルを新規登録する

1. 「プロファイル名」に任意の接続設定名を入力します。
2. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	編集／削除するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを除き最大 14 件 ^{*1}	em.std
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
接続番号	インターネット接続先の番号です。	—	*99# ^{*2}
ユーザ名	ユーザ名を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em ^{*3}
認証方式	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	PAP
APN	APN を指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	スタティック
	APN を設定します。	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, . * ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
IP アドレス	IP アドレスを指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	本製品のグローバル IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)

※ 1 : お買い上げ時、本製品には以下の 2 つのプロファイルが設定されています。これらのプロファイルは、削除／編集できません。

em.std	本接続先は本製品の初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。
em.gbl	グローバル IP アドレスのご利用が可能な接続先です。

※ 2 : 変更できません。

※ 3 : 画面には「●●」で表示されます。

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 登録されているプロファイルを編集する

1. 「プロファイルリスト」から、変更するプロファイル名を選択します。
2. 必要な項目を編集します。
3. 編集が完了したら「保存」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

● 登録されているプロファイルを削除する場合

1. 「プロファイルリスト」から、削除するプロファイル名を選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明 プロファイルを編集する場合、プロファイル名のみを変更して保存すると、新しいプロファイル名のプロファイルとして追加されます。



Wi-Fi (WAN) 設定

Wi-Fi(WAN)接続の設定を行います。自宅や会社などの無線LANルーターや公衆無線LANサービスのアクセスポイントを最大 16 件まで登録できます。

- 本機能を利用するためには、「ネットワーク選択設定」で「Wi-Fi (WAN) 優先」に設定されている必要があります。



● スキャン結果から接続先を設定する

Wi-Fi (WAN) 接続するアクセスポイントを検索結果から選択します。

1. 「WAN Network」で接続するアクセスポイントの「接続」をクリックします。

- Wi-Fi (WAN) 設定の初回起動時などアクセスポイントを自動スキャンしない場合には、「スキャン」をクリックします。

2. パスワードを入力して「接続」をクリックします。

● プロファイルを新規登録する

Wi-Fi (WAN) 接続するためのプロファイル（接続設定）を新規追加します。最大 16 件までプロファイルを追加することができます。

1. プロファイルリストの「新規追加」をクリックします。


2. 有効／無効、プロファイル名、暗号化方式、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

3. プロファイルリストに表示されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。


- プロファイルが登録されると、スキャンが実行され、「WAN Network」の一覧に表示されます。

4 各種機能を設定する

● プロファイルを編集する

1. プロファイルリストで  (編集) アイコンをクリックします。
2. 変更したら、「Ok」をクリックします。
3. プロファイルリストに表示されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。

● プロファイルを削除する

1. プロファイルリストで  (削除) アイコンをクリックします。
2. プロファイルリストから削除されたら「適用」をクリックし、「続行」をクリックします。

● プロファイルを切り替える

1. 「WAN Network」の一覧で、「接続」をクリックする
 - ・ プロファイルへの接続が開始されます。接続済みになったプロファイルは、プロファイルリストの先頭に表示されます。

注意

- ・ これらの設定を変更すると、無線 LAN 接続が切断されることがあります。
- ・ プロファイルリストには、自動検索で登録されたプロファイルが上に、手動で登録したプロファイルが下に表示されます。また、接続したプロファイルの優先度が自動的に上がります。
- ・ プロファイルリストの先頭のプロファイルから優先的に接続が行われ、下にいくほど優先度は低くなります。優先順位は、プロファイルリストの上下矢印をクリックして変更できます。

無線 LAN 設定

無線 LAN 機能の各種設定をします。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (無線 LAN 設定) をクリックします。「無線 LAN 設定」のアイコンメニューが表示されます。



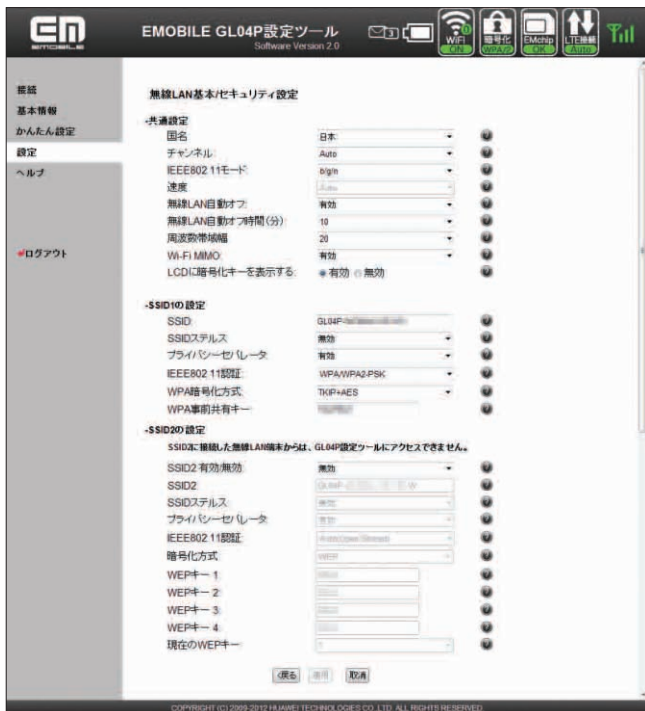
2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

無線 LAN 設定

無線 LAN の機能を設定します。

注意

- マルチ SSID 機能を有効にするには、「ネットワーク選択設定」で「3G/LTE のみ」に設定されている必要があります。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台（SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台）となります。SSID1 に 5 台以上の無線 LAN 端末を接続済みの場合でも、再接続できない端末が発生します。SSID2 に接続しなすなどの操作を行ってください。



1. 各項目を設定します。

■共通設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
国名	国名を選択します。	(リスト項目)	日本
チャンネル	使用チャンネルを選択します。	Auto、1、2、…、13	Auto
IEEE802.11モード	無線 LAN 機能の動作モードを選択します。	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n

4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
速度 ^{*1}	無線 LAN の通信速度の設定が表示されます。	(Auto)	(Auto)
無線 LAN 自動オフ ^{*2}	無線 LAN 端末が接続されていない状態で、無線 LAN 接続を自動的にオフするかどうかを設定します。	有効、無効	有効
無線 LAN 自動オフ時間(分)	無線 LAN 自動オフが「有効」の場合の時間を設定します。	5、10、20	10
周波数帯域幅 ^{*3}	周波数帯域幅を設定します。	20、40	20
Wi-Fi MIMO ^{*3}	無線 LAN の送受信を高速化するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
LCD に暗号化キーを表示する	本体ディスプレイに暗号化キーを表示させるかどうかを設定します。	有効、無効	有効

■ SSID の設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	SSID1 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「_」、「-」、「 」、「(半角スペース)」	※ 4
SSID ステルス ^{*5}	SSID1 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本製品に接続している無線 LAN 端末 (パソコンなど) の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto (Open/Shared)、Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA 暗号化方式 ^{*6}	暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、TKIP+AES	TKIP + AES
WPA 事前共有キー ^{*6}	使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0~9、A~F)	※ 4
暗号化方式 ^{*7}	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP
WEP キー 1~4 ^{*7}	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0~9、A~F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号 (".": "<>&\¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0~9、A~F)	WEP キー ^{*4}
現在の WEP キー ^{*8}	デフォルト (既定値) の WEP キーを設定します。	1~4	1

■ SSID2 の設定

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2 有効／無効※ ⁹	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効
SSID2	SSID2 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半角英数字、「_」、「-」、「 」、「(半角スペース)」	※ 4、10
SSID ステルス	SSID2 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効
プライバシーセパレータ	本製品に接続している無線 LAN 端末 (パソコンなど) の相互通信を禁止するかどうかを設定します。有効にした場合、LAN 接続でのファイル共有などが利用できません。	有効、無効	有効
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	WEP ※ ¹¹	WEP
WEP キー 1～4	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー：5 文字の半角英数字と半角記号 (",";:<> & \ ¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0～9、A～F) 128bit キー：13 文字の半角英数字と半角記号 (",";:<> & \ ¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0～9、A～F)	WEP キー※ ⁴
現在の WEP キー※ ⁸	デフォルト (既定値) の WEP キーを設定します。	1～4	1

※ 1：変更できません。

※ 2：「有効」に設定しても、充電中は無線 LAN 自動オフは動作しません。

※ 3：周波数帯域幅および Wi-Fi MIMO の設定により最大通信速度が変化します (34 ページ)。

※ 4：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 5：「有効」に設定すると、WPS 機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

※ 6：「IEEE802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。

※ 7：「IEEE802.11 認証」で「Auto (Open/Shared)」「Open System」「Shared Key」のいずれかを選択しているときに表示されます。

※ 8：Mac などキーインデックス指定ができない無線 LAN 端末では、WEP キー 2～4 は使用できません。

※ 9：マルチ SSID 機能と Wi-Fi (WAN) 機能は、同時に利用できません。「ネットワーク選択設定」で「Wi-Fi (WAN) 優先」のときはマルチ SSID を設定できません。

※ 10：お買い上げ時の「SSID2」は、無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の末尾に「-W」を追加したものです。

※ 11：SSID2 の暗号化方式は WEP のみになります。

4 各種機能を設定する

- 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - 無線 LAN の再接続確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
- 「続行」ボタンをクリックします。

注意

- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更して、本製品の無線 LAN 機能をいったんオフにしてから再度オンにしてください。
- 無線 LAN に許容される通信速度やチャンネルなどの設定値は、国によって異なります。本製品を日本国外でお使いになる場合には、正しい国名を設定して、各国の通信事情に十分注意してご利用ください。
- 通信の安全性を高めるために、暗号化方式は WEP よりも WPA/WPA2 に設定することをお勧めします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- WPA/WPA2 のキー更新頻度は 6000 秒に固定されており、変更することはできません。



WPS 設定

WPS 用の PIN コードが指定された WPS 対応機器を接続する場合に、指定されている PIN コードを設定します。



- 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN	WPS 対応機器に指定されている PIN コードを設定します。	8 桁の半角数字	(なし)

- 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

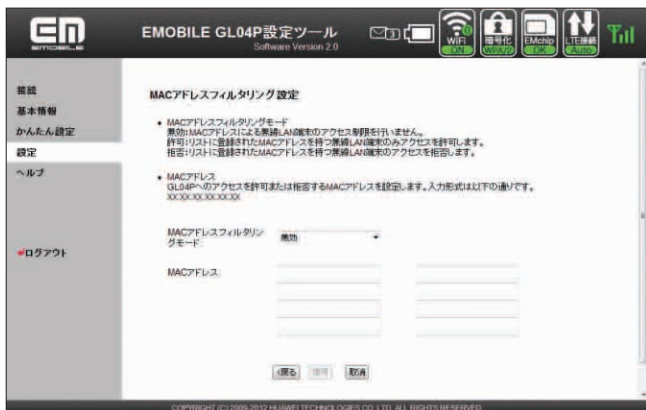
説明

WPS を実行するには無線 LAN がオンになっている必要があります。無線 LAN がオンになっていることをご確認の上、WPS 設定を行ってください。WPS PIN を設定すると、自動的に本製品の WPS 機能がオンになります。約 2 分以内に、WPS 対応機器で WPS 機能の接続操作を行ってください。



MAC アドレスフィルタリング設定

無線 LAN 端末の MAC アドレスを登録して無線 LAN 接続の許可／禁止を設定し、セキュリティ機能を強化できます。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレスフィルタリングモード	MAC アドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	無効、許可、拒否*	無効
MAC アドレス	接続を許可、または禁止する無線 LAN 端末の MAC アドレスを 10 個まで設定できます。	00 ~ FF の 6 組の番号	(なし)

※：「許可」と「拒否」を同時に設定することはできません。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。


注意

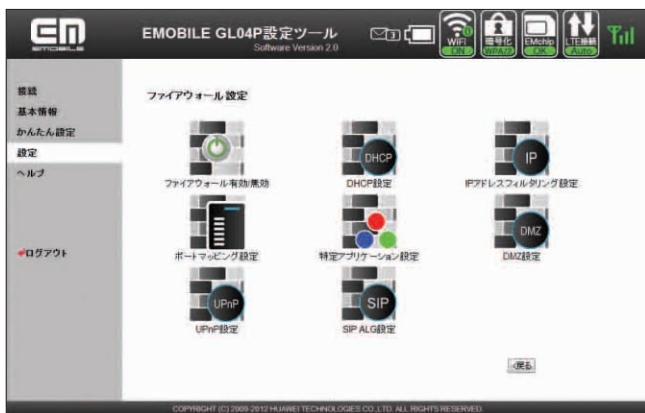
- これらの設定を変更すると、無線 LAN で接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の MAC アドレスを確認し、正しく設定しなおしてください。
- これらの設定を有効にしている場合、許可されていない無線 LAN 端末は、WPS 機能を利用して接続できなくなります。
- マルチ SSID が有効のときは、本設定は SSID2 にも反映されます。

4 各種機能を設定する

セキュリティに関する機能の設定をする（ファイアウォール設定）

ファイアウォール機能に関する詳細設定をします。

1. 「設定」のアイコンメニューから （ファイアウォール設定）をクリックします。「ファイアウォール設定」アイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ファイアウォール有効／無効

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。

※不正な侵入を完全に防ぐことを保証するものではありません。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールを有効にする	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
IP アドレスフィルタを有効にする	IP アドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オン)
WAN ポート PING 応答を無効にする	WAN 側からの Ping に応答するかどうかを設定します。	(オン、オフ)	(オフ)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

説明

ファイアウォールを有効に設定すると、外部からの LAN 側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。



DHCP 設定

LAN 内の端末に IP アドレスを割り当てる機能を設定します。

The screenshot shows the 'DHCP設定' (DHCP Settings) screen of the 'EMOBILE GL04P設定ツール' (Software Version 2.0). The interface includes a sidebar with navigation options like '接続', '基本情報', 'かんたん設定', '設定', and 'ヘルプ'. The main content area displays the following settings:

- IPアドレス: 192.168.1.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- DHCPサーバ: * 有効 / * 無効
- 開始IPアドレス: 192.168.1.100
- 終了IPアドレス: 192.168.1.200
- DHCPリースタイム(秒): 3600
- DNS設定: * ダイナミック / ○ スタティック
- プライマリDNS: [Input field]
- セカンダリDNS: [Input field]

At the bottom, there are buttons for '<戻る', '適用', and '取消'. A copyright notice at the very bottom reads: 'COPYRIGHT (C) 2009-2012 HOMER TECH#OLOGIES CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.'

4 各種機能を設定する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス	本製品のプライベート IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0～255 の 4 組の番号	255.255.255.0
DHCP サーバ	DHCP 機能を利用するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
開始 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最小の IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.100
終了 IP アドレス	無線 LAN 端末に割り当てる最大の IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	192.168.1.200
DHCP リースタイム (秒)	IP アドレスのリースタイムを設定します。	60～86400	86400
DNS 設定	DNS サーバアドレスを DHCP 機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	(なし)
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。	0～255 の 4 組の番号	(なし)

2. 設定が完了したら、「適用」ボタンをクリックします。

- 本製品の再起動確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

注意

- 「IP アドレス」と「開始 IP アドレス」、「終了 IP アドレス」には、同じサブネットワーク内の IP アドレスを指定してください。
- 「終了 IP アドレス」には、「開始 IP アドレス」より大きい IP アドレスを指定してください。
- 上記の設定を変更すると、GLO4P 設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、パソコンの再起動後、正しい IP アドレスを指定して GLO4P 設定ツールを起動しなおしてください。
- 「IP アドレス」または「サブネットマスク」を変更すると、「IP アドレスフィルタリング設定」「ポートマッピング設定」「DMZ 設定」の設定変更が必要になる場合があります。

IP アドレスフィルタリング設定

ファイアウォールの基本的な機能です。設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。最大16件まで登録できます。

注意 この機能を利用するには、「ファイアウォール有効/無効」の「IPアドレスフィルタを有効にする」をオンに設定しておく必要があります(86ページ)。

説明 サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。

The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main section is titled 'IPアドレスフィルタリング設定' (IP Address Filtering Setting). It contains the following information:

- 設定したルールに当てはまるIPアドレスをフィルタリングします。**
LAN/WANポート番号:ポート番号の設定範囲は1~65535です。
注意:設定は追加更新ボタンにて設定一覧に追加更新後、適用ボタンをクリックすることで有効になります。
- 常時ON/停電履歴なしのため、本製品には子の4つのフィルタ条件が設定されています。**
特に必要がなければ解除せずこのままご利用ください。

Configuration fields include:

- プロトコル: TCP/UDP
- ステータス: 有効
- LAN側IPアドレス: [Input field]
- LAN側ポート番号: [Input field]
- WAN側IPアドレス: [Input field]
- WAN側ポート番号: [Input field]
- 種別: [Input field]
- 方向: [Input field]

Buttons: <戻る, 追加更新, 適用, 取消

設定一覧

LAN側IPアドレス	LAN側ポート番号	WAN側IPアドレス	WAN側ポート番号	プロトコル	ステータス	操作
192.168.1.*	1-65535	***	135-139	TCP/UDP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	445	TCP/UDP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	2049	TCP/UDP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	12343	TCP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	12345	TCP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	27374	TCP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	31765	TCP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	31789	TCP	有効	解除
192.168.1.*	1-65535	***	31761	UDP	有効	解除

Copyright (c) 2009-2012 HARBET TECHNICAL CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	TCP、UDP、TCP/ UDP	※ 1
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	※ 1
LAN 側 IP アドレス	ルールを適用する LAN 側 (送信元) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号 とワイルドカードとして 「*」※ 2	※ 1
LAN ポート番号	ルールを適用する LAN 側 (送信元) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」 で連結	※ 1
WAN 側 IP アドレス	ルールを適用する WAN 側 (送信先) 端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号 とワイルドカードとして 「*」※ 2	※ 1
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側 (送信先) ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」 で連結	※ 1
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否※ 3
方向	ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT※ 3

※ 1 : お買い上げ時、本製品には 9 つのフィルタ条件が設定されています。139 ページの ※ 5 を参照してください。

※ 2 : 「*」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. *.*.*
2. 10.*.*
3. 10.10.*.*
4. 10.10.10.*

※ 3 : 変更できません。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。


- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
 - ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

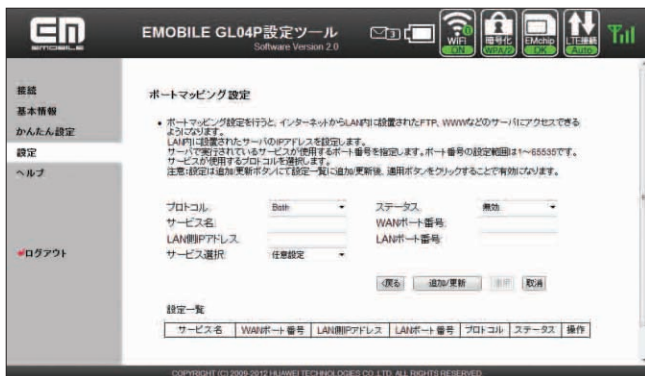
ポートマッピング設定

インターネットから LAN 内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバや FTP を公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを使用する場合に設定します。最大 16 件まで登録できます。

注意 この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、公開するサーバには、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります (87 ページ)。

説明 セキュリティ対策などのためにポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。

91



4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
サービス名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, * ; : < > & \ ¥ は除く)	(なし)
WAN ポート番号	ルールを適用する WAN 側 (送信元) ポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
LAN 側 IP アドレス	サーバとして公開する LAN 側端末の IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
LAN ポート番号	サーバとして公開する LAN 側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WAN ポート番号」と同じ値を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
サービス選択 [※]	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(任意設定)

※：一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「任意設定」を選択し、各項目を手動で設定してください。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。


- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている  (削除) アイコンをクリックします。
 - ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
 - ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。
2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。
 - ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
3. 「続行」ボタンをクリックします。

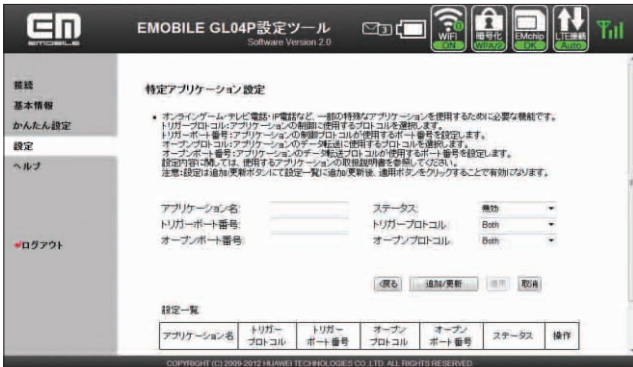


特定アプリケーション設定

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特殊なアプリケーションが利用できるようにします。最大 16 件まで登録できます。

説明

アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。



The screenshot shows the 'EMOBILE GL04P 設定ツール' (Software Version 2.0) interface. The main content area is titled '特定アプリケーション設定' (Special Application Settings). It contains a list of instructions in Japanese regarding the registration of special applications like online games and video calls. Below the instructions are four input fields: 'アプリケーション名' (Application Name), 'トリガーポート番号' (Trigger Port Number), 'トリガーポート番号' (Trigger Port Number), and 'オープンポート番号' (Open Port Number). To the right of these fields are dropdown menus for 'ステータス' (Status), 'トリガープロトコル' (Trigger Protocol), and 'オープンプロトコル' (Open Protocol). At the bottom, there are buttons for '<戻る' (Back), '適用/更新' (Apply/Update), '続行' (Continue), and '取消' (Cancel). A table at the bottom lists the registered applications with columns for 'アプリケーション名', 'トリガープロトコル', 'トリガーポート番号', 'オープンプロトコル', 'オープンポート番号', 'ステータス', and '操作'.

アプリケーション名	トリガープロトコル	トリガーポート番号	オープンプロトコル	オープンポート番号	ステータス	操作

4 各種機能を設定する

● ルールを登録する

1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
アプリケーション名	ルールに任意の名前を付けます。	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (, " ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	有効、無効	無効
トリガーポート番号	制御データ用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	(なし)
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	Both、TCP、UDP	Both
オープンポート番号	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を 5 つまで設定できます。	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結※ 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	Both、TCP、UDP	Both

※：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は 100 以下にしてください。

2. 「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 続けて別のルールを登録する場合は、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを変更する

1. 設定一覧から、設定を変更したいルールの「操作」欄に表示されている (編集) アイコンをクリックします。

設定内容が設定画面に読み込まれます。

2. 設定を変更し、「追加 / 更新」ボタンをクリックします。

- ・ 必要に応じて手順 1 ~ 2 を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

4. 「続行」ボタンをクリックします。

● 登録したルールを削除する

1. 設定一覧から、削除したいルールの「操作」欄に表示されている (削除) アイコンをクリックします。

- ・ 削除確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。
- ・ 必要に応じて手順 1 を繰り返し、複数のルールを削除できます。

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックします。

- ・ 保存確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

3. 「続行」ボタンをクリックします。



DMZ 設定

LAN 内の特定の端末を、他の端末から隔離された DMZ ホストとして設定することができます。Web サーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するときに、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。

注意

- DMZ ホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようお勧めします。
- この機能では LAN 側端末を IP アドレスで指定するため、DMZ ホストになる端末には、DHCP 設定にて割り当てられていない、同一サブネット内の静的な IP アドレスを、手動で設定する必要があります（87 ページ）。



1. 各項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZ	DMZ ホストを設定するかどうかを選択します。	有効、無効	無効
DMZ IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを設定します。	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

4 各種機能を設定する

UPnP 設定

UPnP 対応の周辺機器、AV 機器、電化製品、またはメッセージャソフトなどの UPnP 対応アプリケーションを使用するときに設定します。



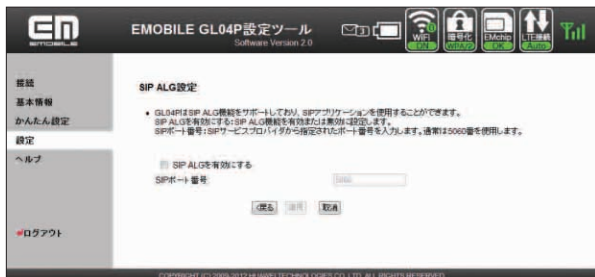
1. UPnP 機能の有効/無効を選択します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnP	UPnP 機能を使用するかどうかを選択します。	有効、無効	有効

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

SIP ALG 設定

SIP アプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。




1. 各項目を設定します

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIP ALG を有効にする	SIP ALG 機能を有効にするかどうかを選択します。	(オン、オフ)	(オフ)
SIP ポート番号	SIP サービスプロバイダから指定されたポート番号を入力します。	1 ~ 65535	(5060)

2. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。

システム設定

GL04P 設定ツールのログインパスワードを変更したり、各設定をお買い上げ時の状態に戻したりするなど、GL04P 設定ツール全体の設定や操作ができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (システム設定) をクリックします。
「システム設定」のアイコンメニューが表示されます。



2. 設定する機能のアイコンをクリックします。

ログインパスワード変更

GL04P 設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



1. 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力します。
パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号 (, * : ; < > & \ ¥ は除く) で設定します。
2. 「変更」ボタンをクリックし、「続行」をクリックします。
パスワードが変更され、「ログイン」画面に戻ります。

4 各種機能を設定する

バックアップ & リストア

GL04P 設定ツールの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

注意 バックアップまたはリストアは対応する Web ブラウザを搭載した機器でのみ操作可能なため、対応ブラウザ非搭載の無線 LAN 端末では実行できません。



● バックアップする場合

1. 「バックアップ」ボタンをクリックします。
2. 確認画面が表示されたら、「保存」をクリックします。
3. 保存先フォルダとファイル名を指定し、「保存」をクリックします。
 - ・ bak ファイル形式で保存されます。

注意 Web ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

● リストアする場合

1. 「参照 ...」ボタンをクリックして読み込むファイルを指定します。
2. 「リストア」ボタンをクリックします。
 - ・ リストア確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
3. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - ・ 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

工場出荷設定

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※ EM chip の登録内容、microSD カードに保存した内容は削除されません。



1. 「リストア」ボタンをクリックします。
 - リストア確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

本体再起動

本製品を再起動することができます。



1. 「再起動」ボタンをクリックします。
 - 再起動確認画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 本製品が再起動され、「続行」ボタンをクリックするとログイン画面に戻ります。再起動には約 60 秒かかります。
 - 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。

4 各種機能を設定する

バージョン情報

本製品に関するバージョン情報を確認することができます。



※ 実際の表示とは異なります。



アップデート

最新のソフトウェアをダウンロードし、アップデートできます。

100

注意

オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。



1. 「アップデートの確認」ボタンをクリックします。
ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。
 - ・ インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をクリックします。
2. 新しいバージョンの情報が表示されたら、「今すぐ更新」ボタンをクリックします。
 - ・ 本製品のソフトウェアが最新の場合は、最新版である旨のメッセージが表示されます。「戻る」をクリックし、そのままお使いください。
3. 「開始」ボタンをクリックします。
4. 「使用許諾契約」の内容を確認し、同意する場合は「同意」ボタンをクリックします。
 - ・ インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

5. アップデートが完了したら、「再起動」ボタンをクリックします。
再起動すると、アップデートされたソフトウェアが反映されます。


● **更新ソフトウェアの自動確認を設定する場合**

ソフトウェアのチェックを定期的に自動で行うかどうかを設定します。
お買い上げ時は「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っていますので、ソフトウェアのチェックを自動で行います。
最新のソフトウェアが見つかった場合、本製品のディスプレイ上に通知されます。詳しくは、25 ページ「アニメーション/テキスト表示について」を参照してください。

注意 国際ローミング中は、本設定に関わらず、ソフトウェアの自動チェックは行いません。

microSD 設定

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。
「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを、設定ツール上で確認することができます。また、本製品に接続しているすべての機器から、microSD カードに保存されている内容を確認することができます。

1. 「設定」のアイコンメニューから  (microSD 設定) をクリックします。



2. 項目を設定します。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード、 USB マストレージモード	USB マストレージモード

3. 設定が完了したら「適用」ボタンをクリックし、「続行」をクリックします。

4 各種機能を設定する

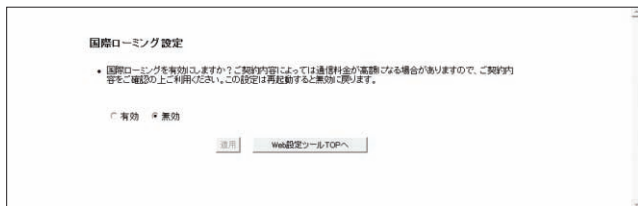
サポート情報を確認する（ヘルプ）

本製品や各種サービスに関する情報、問題の対処方法などは、こちらのヘルプページよりイー・モバイル公式サイトへアクセスしてください。



102 ローミング設定をする

海外で本製品を使ったデータ通信を利用する場合は、ローミング設定を有効に設定します。




1. GL04P 設定ツールのトップページで「ローミング設定ページへ」をクリックします。
2. 「有効」をクリックし、「適用」ボタンをクリックします。
 - 国際ローミング有効のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。国際ローミング設定画面に戻ります。
 - ローミング設定を無効にした場合も、同様の動作となります。なお、無効にした場合はデータ通信は利用できません。

注意

- ・ 国際ローミング設定を有効に設定しても、電源を切ると無効に戻ります。海外で利用する場合は、電源を入れるたびに国際ローミング設定を有効に設定してください。
- ・ 海外でデータ通信をご利用される場合、大容量データの送受信により、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ・ 対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、「ネットワーク検索設定」(75 ページ)を参照のうえ、手動で設定してください。

受信したメッセージを確認する

イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイに  が表示されます(数字は、未読のメッセージ数を表しています)。GLO4P 設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

・ メッセージは最大 250 件まで保存できます(メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります)。

※ 2012 年 11 月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

1. 本製品とパソコンを無線 LAN または USB ケーブルで接続し、GLO4P 設定ツールを起動します。
2. GLO4P 設定ツールのトップページで「受信箱へ」をクリックします。
メッセージ受信箱が表示されます。

4 各種機能を設定する

● 受信したメッセージを確認する場合

1. メッセージ受信箱で確認するメッセージ（受信日時／送信者／内容欄のいずれか）をクリックします。



● メッセージを削除する場合

1. メッセージ受信箱で削除するメッセージにチェックマークを付けます。
2. 「削除」ボタンをクリックします。

● 受信箱の表示を更新する場合

1. メッセージ受信箱で「更新」ボタンをクリックします。
表示が更新されます。

microSD カードの情報を確認する

本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルを、無線 LAN または USB ケーブルで接続したパソコン上の GLO4P 設定ツールで確認することができます。

注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- 21 ページ「動作環境（対応 OS）」に記載されている環境以外では、正常に機能／動作しない場合があります。

1. 本製品とパソコンを無線 LAN または USB ケーブルで接続し、GLO4P 設定ツールを起動します。
2. GLO4P 設定ツールのトップページで「microSD フォルダを表示します」をクリックします。
3. 確認するフォルダをクリックし、ファイルをクリックします。



4. 「ファイルを開く」をクリックします。
- microSD カードのファイルを削除する場合
 1. 削除するファイルにチェックマークを付けます。
 2. 「選択したファイルを削除」ボタンをクリックし、「続行」ボタンをクリックします。
 - microSD カードのファイルをパソコンに保存する場合
 1. 保存するファイルをクリックします。
 2. 「保存」をクリックします。
 - パソコンのファイルを microSD カードに保存する場合
 1. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 2. 「参照」ボタンをクリックし、保存するファイルを選択して、「開く」をクリックします。
 3. 「アップロード」ボタンをクリックします。
 4. アップロード成功の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

4 各種機能を設定する

モバイル機器用設定ツールについて

iPod touch などのモバイル機器から設定ツールにアクセスすると、モバイル機器用の設定ツール画面が表示されます。

モバイル機器用設定ツールでは、パソコン用設定ツールのかんたん設定（65 ページ）と同様の設定が可能です。また、受信したメッセージを確認したり、microSD カードの情報を確認したりすることも可能です。

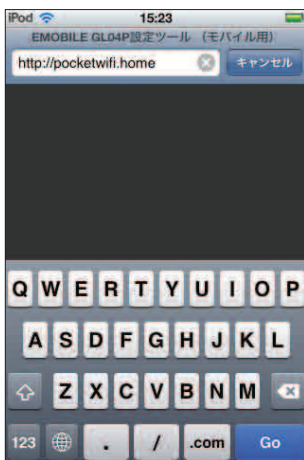
注意

- すべてのモバイル機器での動作を保証するものではありません。
- 本製品の詳細な動作設定については、62 ページ「GL04P 設定ツールについて」を参照してください。
- パソコン用設定ツールと比較して、一部機能が省略されています。

モバイル機器用設定ツールを起動する

画面表示や手順は、GL04P 設定ツールに対応する Web ブラウザを搭載した iPod touch を例にして説明しています。

1. iPod touch を起動し、本製品と無線 LAN で接続します。
2. Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「<http://pocketwifi.home>」と入力します。



注意

パソコン用設定ツール画面（63 ページ）左下の「モバイル用画面へ」を選択しても起動します。

3. ログイン画面が表示されます。パスワードを入力して、「ログイン」をタッチします。
- お買い上げ時の設定ツールのログインパスワードは、「admin」に設定されています。
 - ユーザ名は「admin」で固定されています。ユーザ名の変更はできません。
 - 必要に応じて「言語」欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

モバイル機器用 GLO4P 設定ツールログイン画面






- 1 状態表示アイコン（左から、無線 LAN 状態表示、暗号化方式表示、EM chip アイコン、WAN アイコン／Wi-Fi (WAN) アイコン、SIG アイコン）

- ：無線 LAN が無効
- ：無線 LAN が有効（丸内の数字は接続台数）
- ：WPA/WPA2
- ：WPA2
- ：WPA
- ：WEP
- ：暗号化なし
- ：有効な EM chip が取り付けられています。
- ：EM chip が取り付けられていません。または EM chip が無効になっています。
- ：LTE ネットワークでインターネット接続中（インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示）
- ：3G ネットワークでインターネット接続中（インターネット未接続時は「Auto」が赤く表示）
- ⇄ ：3G / LTE ネットワークで受信レベル「強」⇄「弱」
- ：3G / LTE ネットワークで圏外
- ：Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「弱」
- ：Wi-Fi (WAN) 接続中で、受信レベル「強」

4 各種機能を設定する

② メッセージボックス 受信箱へ

受信したメッセージを表示します（123 ページ）。

- ・ ：未読のメッセージがある場合
- ・ ：すべて既読の場合
- ・ ：メッセージがまったくなくて、これ以上受信できない場合

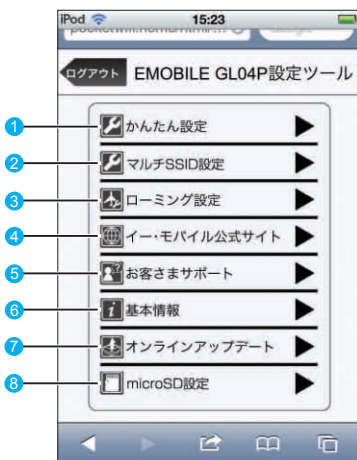
③ microSD

microSD カードの情報を表示します。

④ PC 用画面へ

PC 用の GLO4P 設定ツール画面を表示します。

モバイル機器用 GLO4P 設定ツールトップページ



① かんたん設定

かんたん設定画面を表示します。主な設定項目は、パソコン用設定ツールと同様です。詳しくは、65 ページ「かんたん設定」を参照してください。

② マルチ SSID 設定

マルチ SSID 機能 (SSID2) の有効/無効を設定します。

③ ローミング設定

海外でのデータ通信を設定します（119 ページ）。

④ イー・モバイル公式サイト

⑤ お客さまサポート

イー・モバイルのホームページを表示します。

⑥ 基本情報

現在の本製品の通信設定を表示します。

⑦ オンラインアップデート

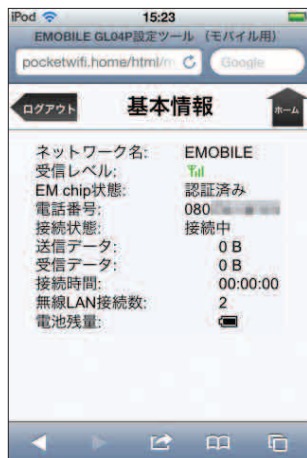
無線 LAN 接続した無線 LAN 対応端末から、本製品のアップデートを行います（120 ページ）。

⑧ microSD 設定

microSD カードに関する設定を行います。

基本情報を確認する

- モバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページで「基本情報」をタッチします。



設定項目	説明
ネットワーク名	現在接続中のネットワーク名を表示します。
受信レベル	⇄ : 受信レベル「強」⇄「弱」
EM chip 状態	EM chip (エムチップ) の認証状態を表示します。
電話番号	EM chip (エムチップ) に登録されている電話番号を表示します。
接続状態	インターネットへの接続状況を表示します。
送信データ	累計の送信データ量を表示します。
受信データ	累計の受信データ量を表示します。
接続時間	接続時間を表示します。
無線 LAN 接続数	本製品へ無線接続している機器の台数を表示します。
電池残量	本製品の電池残量を表示します。 ⇒ : 電池残量「多い」⇒「少ない」

注意 表示される受信データ／送信データ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。

4 各種機能を設定する

画面左上の「ログアウト」をタッチすると、設定ツールからログアウトします。
右上の「ホーム」をタッチすると、設定ツールのトップページに戻ります。



かんたん設定を使用する

かんたん設定では、本製品をご利用する上で必要な主要な設定項目を 1～4 のステップで簡単に行うことができます。

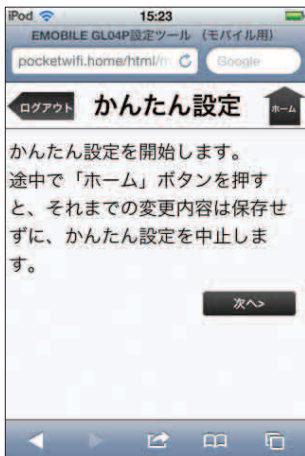
かんたん設定で設定した内容は、設定完了後に修正することも可能です。

注意

- 変更内容は、最後に「完了」ボタンを押した後に保存されます。途中でログアウトまたはホームに戻ると、それまでの変更内容は保存せずに、かんたん設定を中止します。
- かんたん設定では、主要な設定項目のみの設定を行います。その他詳細な項目の設定は、パソコン用設定ツール（62 ページ）を使用してください。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「かんたん設定」をタッチします。

2. 「次へ」 ボタンをタッチします。



3. ステップ 1 が表示されます。ステップ 1 では接続先 APN を設定します。プロフィールリストからプロフィールを選択して、「次へ」をタッチします。プロフィールについては、76 ページ「接続モード設定」および77 ページ「プロフィール設定」を参照してください。

111



設定項目	説明	初期値
APN	APN を設定します。	em.std

4 各種機能を設定する

4. ステップ2が表示されます。ステップ2では無線LANの設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。

無線LANの各種設定については、81 ページ「無線LAN設定」もあわせて参照してください。

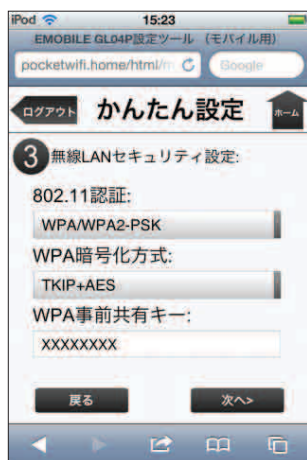


設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID	SSID1のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	※1
SSIDステルス※2	SSID1のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※1：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線LAN初期設定シールを参照してください。

※2：「有効」に設定すると、WPS機能が利用できなくなりますのでご注意ください。

5. ステップ3が表示されます。ステップ3では無線LANのセキュリティ設定をします。設定が完了したら、「次へ」をタッチします。無線LANのセキュリティ設定については、81ページ「無線LAN設定」もあわせて参照してください。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
802.11 認証	認証方式を選択します。	Auto (Open/Shared) Open System、 Shared Key、WPA- PSK、WPA2-PSK、 WPA/WPA2-PSK	WPA/ WPA2-PSK
WPA 暗号化方式 ^{※1}	暗号化モードを選択します。	AES、TKIP、 TKIP+AES	TKIP+AES
WPA 事前共有キー ^{※1}	使用する WPA 事前共有キーを指定します。	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (, * ; < > & \ ¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F)	※ 3
暗号化方式 ^{※2}	暗号化モードを選択します。	暗号化なし、WEP	WEP

4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WEP キー 1 ※2	「暗号化方式」で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く） または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く） または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー ※3

※ 1：「802.11 認証」で「WPA-PSK」「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を選択しているときに表示されます。

※ 2：「802.11 認証」で「Auto (Open/Shared)」「Open System」または「Shared Key」を選択しているときに表示されます。

※ 3：お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

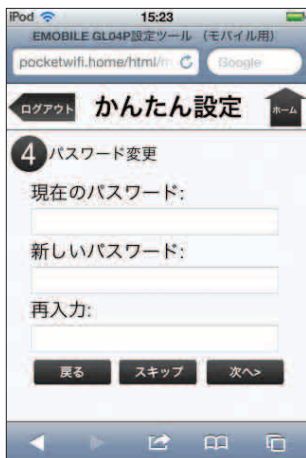
6. ステップ 4 が表示されます。ステップ 4 では設定ツールにログインする際のログインパスワードの設定をします。

現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力します。

パスワードは、最大 15 文字までの半角英数字と半角記号（. * : ; < > & \ ¥ は除く）で設定します。

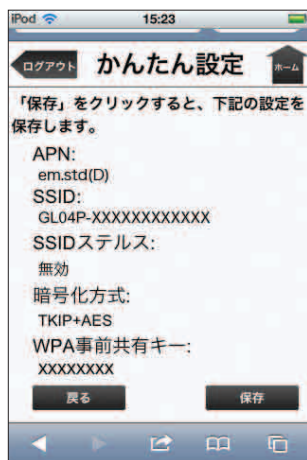
設定を変更しない場合は「スキップ」ボタンをタッチします。

新しくパスワードを変更した場合は「次へ」ボタンをタッチします。



7. ここまで行った設定内容を表示します。

設定内容を確認したら、「保存」をタッチして設定内容を保存します。



注意

- 設定を変更後に引き続きモバイル機器用設定ツールを使用する場合は、設定ツールに再度アクセスする必要があります。
- インターネット接続中に設定を変更すると、接続が切断されることがあります。

4 各種機能を設定する

マルチ SSID 設定をする

マルチ SSID 機能 (SSID2) の有効/無効を設定します。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「マルチ SSID 設定」をタッチします。

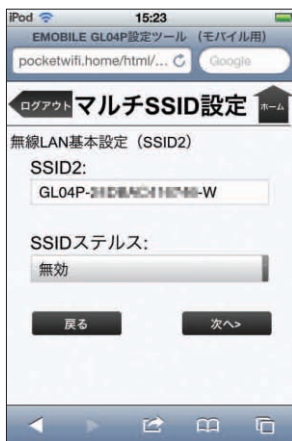


2. マルチ SSID で「有効」を選択したら、「次へ」をタッチします。「無効」を選択したときは「保存」をタッチします。マルチ SSID 設定は終了します。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
マルチ SSID	SSID2 を有効にするかどうかを設定します。	有効、無効	無効

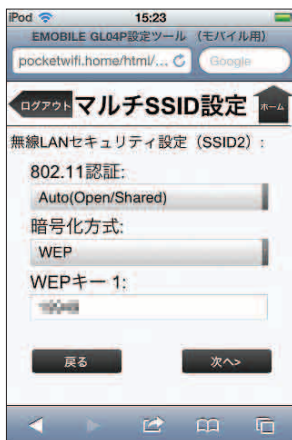
3. 無線 LAN 基本設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2	SSID2 のネットワーク名 (SSID) を設定します。	最大 32 文字までの半英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※
SSID ステルス	SSID2 のネットワーク名が表示されないように設定します。	有効、無効	無効

※お買い上げ時の「SSID2」は、無線 LAN 初期設定シールの「SSID」の末尾に「-W」を追加したものです。

4. 無線 LAN セキュリティ設定 (SSID2) を設定したら、「次へ」をタッチします。

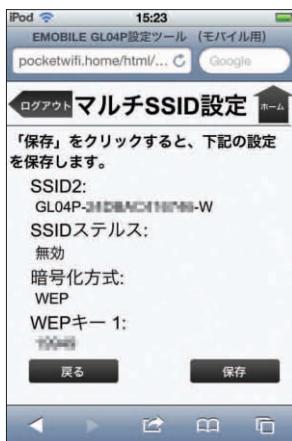


4 各種機能を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。「Auto(Open/Shared)」を選択すると WEP 認証方式として Open System または Shared Key を自動的に選択します。	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
暗号化方式	暗号化モードを選択します。	WEP *	WEP
WEP キー 1	使用する WEP キーを設定します。	64bit キー：5 文字の半角英数字と半角記号（.、:、<、>、&、\、¥は除く）または 10 桁の 16 進数（0～9、A～F） 128bit キー：13 文字の半角英数字と半角記号（.、:、<、>、&、\、¥は除く）または 26 桁の 16 進数（0～9、A～F）	WEP キー

※ SSID2 の暗号化方式は WEP のみになります。

5. 設定内容を確認し、「保存」をタッチして保存します。



注意

- これらの設定を変更すると、既に接続設定済みの無線 LAN 端末が接続できなくなることがあります。その場合には、無線 LAN 端末の接続設定を変更してください。
- マルチ SSID 機能を有効にするには、「ネットワーク選択設定」で「3G/LTE のみ」に設定されている必要があります。詳しくは、71 ページ「ネットワーク選択設定」を参照してください。
- マルチ SSID 機能が有効の場合、無線 LAN 端末の最大接続数は 9 台（SSID1 に 5 台、SSID2 に 4 台）となります。

ローミング設定をする

海外で本製品を使ったデータ通信を利用する場合は、ローミング設定を有効に設定します。



1. モバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページで「ローミング設定」をタッチします。
2. 「有効」をタッチし、「適用」ボタンをタッチします。
 - 国際ローミング有効のメッセージが表示されたら「OK」をタッチします。国際ローミング設定画面に戻ります。
 - ローミング設定を無効にした場合も、同様の動作となります。なお、無効にした場合はデータ通信は利用できません。

注意

- 国際ローミング設定を有効に設定しても、電源を切ると無効に戻ります。海外で利用する場合は、電源を入れるたびに国際ローミング設定を有効に設定してください。
- 海外でデータ通信をご利用される場合、大容量データの送受信により、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 対象の国・地域において、対象事業者のネットワークを利用したデータ通信では「海外データ 1 日定額」が適用されます。詳しくは、イー・モバイルのホームページをご覧ください。対象事業者のネットワークを確実に利用するには、「ネットワーク検索設定」(75 ページ)を参照のうえ、手動で設定してください (パソコン用設定ツールでの操作が必要です)。

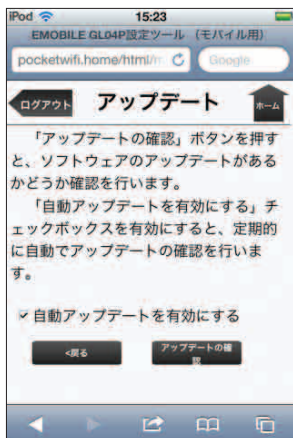
4 各種機能を設定する

オンラインアップデートを使用する

モバイル機器で、最新のソフトウェアをダウンロードし、アップデートできます。

注意 オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。

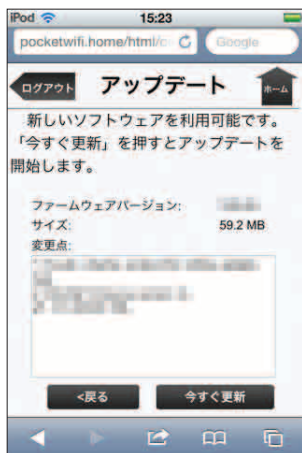
1. モバイル機器用 GLO4P 設定ツールのトップページで「オンラインアップデート」をタッチします。
2. 「アップデートの確認」ボタンをタッチします。



ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。

- ・ インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をタッチします。

3. 新しいバージョンの情報が表示されたら、「今すぐ更新」ボタンをタッチします。



- 本製品のソフトウェアが最新の場合は、最新版である旨のメッセージが表示されます。「戻る」をタッチし、そのままお使いください。

4. 「開始」ボタンをタッチします。
5. 「使用許諾契約」の内容を確認し、同意する場合は「同意」ボタンをタッチします。
- インターネット接続確認の画面が表示されたら「OK」をタッチします。
6. アップデートが完了したら、「再起動」ボタンをタッチします。
- 再起動すると、アップデートされたソフトウェアが反映されます。

● 更新ソフトウェアの自動確認を設定する場合

ソフトウェアのチェックを定期的に自動で行うかどうかを設定します。

お買い上げ時は「自動アップデートを有効にする」にチェックが入っていますので、ソフトウェアのチェックを自動で行います。

最新のソフトウェアが見つかった場合、本製品のディスプレイ上に通知されます。詳しくは、25 ページ「アニメーション/テキスト表示について」を参照してください。

注意

国際ローミング中は、本設定に関わらず、ソフトウェアの自動チェックは行いません。

4 各種機能を設定する

microSD 設定をする

microSD カードに保存されているファイルの共有モードを指定します。

「HTTP NAS モード」に設定すると、microSD カードに保存されているファイルを、モバイル機器用設定ツール上で確認することができます。また、本製品に接続しているすべての機器から、microSD カードに保存されている内容を確認することができます。

1. モバイル機器用 GL04P 設定ツールのトップページで「microSD 設定」をタッチします。




2. 項目を設定します。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
共有モード	共有モードを指定します。	HTTP NAS モード、 USB マスストレージ モード	USB マス ストレージモ ード

3. 設定が完了したら「保存」ボタンをタッチします。

受信したメッセージを確認する

イー・モバイルからのお知らせなどのメッセージを受信すると、本製品のディスプレイに  が表示されます（数字は、未読のメッセージ数を表しています）。モバイル機器用設定ツールを利用すると、メッセージを確認することができます。

・メッセージは最大 250 件まで保存できます（メッセージサイズにより 250 件未満で受信箱がいっぱいになることがあります）。

※ 2012 年 11 月現在、イー・モバイルからのメッセージの配信は行っておりません。

1. モバイル機器用設定ツールのログイン画面で （または ）をタッチします。



メッセージ受信箱が表示されます。

4 各種機能を設定する

● 受信したメッセージを確認する場合

1. 確認するメッセージをタッチします。



● メッセージを削除する場合

1. 削除するメッセージをタッチしてチェックマークを付けます。
2. 「削除」ボタンをタッチします。

● メッセージ受信箱の表示を更新する場合

1. 「更新」ボタンをタッチします。
最新の情報が表示されます。

microSD カードの情報を確認する

本製品に取り付けた microSD カードに保存されているファイルを、無線 LAN 接続した端末のモバイル機器用 GL04P 設定ツールで確認することができます。

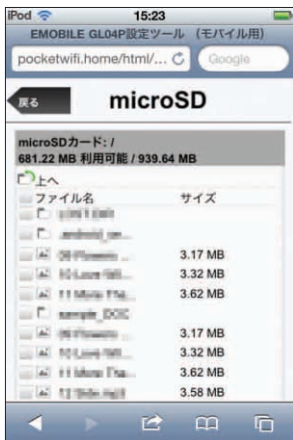
注意

- この機能を利用するには、「microSD 設定」の「共有モード」を「HTTP NAS モード」に設定しておく必要があります。
- お使いの環境によっては、一部の機能がご利用いただけない場合があります。

1. モバイル機器用設定ツールのログイン画面で「microSD」をタッチします。



2. 確認するフォルダをタッチし、ファイルをタッチします。



● microSD カードのファイルを削除する場合

1. 削除するファイルをタッチしてチェックマークを付けます。
2. 「選択したファイルを削除」ボタンをタッチします。

5 故障と思われる前に

症状	参照ページ
1. 無線 LAN 端末を接続できない。	127
2. インターネットへの接続に失敗した。	127
3. 通信がすぐに切れる。	127
4. 通信速度が遅く感じる。	128
5. USB ケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない。	128
6. 本製品をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない。	130
7. PIN コードを忘れた。PIN ロック解除コードを知らない。EM chip が完全ロック状態である。	130
8. EM chip が認識されない。	130
9. 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻したい。	130
10. 管理者権限 (Administrator) でログインしているのか判らない。	131
11. 「取扱説明書 (本書)」を参照する。	131
12. 音声チャットやビデオチャットの接続が失敗する。	132
13. IP アドレスエラーが表示される。	132

まず、以下の項目をお調べください。それでも問題が解決できない場合は、お問い合わせ先(143ページ)にご相談ください。

1. 無線 LAN 端末を接続できない。

1. 本製品と無線 LAN 端末の無線 LAN 機能がオンになっていることを確認してください。
2. WPA または WPA2 の暗号化方式を設定している場合は、無線 LAN 端末で本製品の SSID が選択されているか、正しい WPA 事前共有キーを設定しているか、確認してください。SSID または WPA 事前共有キーを忘れた場合は、GLO4P 設定ツールの無線 LAN 設定で確認や変更ができます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。
また、無線 LAN 端末によっては、WPA/WPA2 の暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線 LAN 端末の取扱説明書をご確認ください。
3. WEP の暗号化方式を設定している場合は、無線 LAN 端末で本製品の SSID が選択されているか、正しい WEP キーを入力しているかを確認してください。SSID または WEP キーを忘れた場合は、GLO4P 設定ツールの無線 LAN 設定で確認や変更ができます。詳しくは、81 ページ「無線 LAN 設定」を参照してください。
4. WPS 機能で接続できない場合は、無線 LAN 端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線 LAN 機能を手動で設定する必要があります。33 ページ「2 無線 LAN で接続する」を参照してください。
5. WPS 用の PIN コードが指定された無線 LAN 端末を接続する場合は、正しい PIN コードを設定しているか、確認してください。詳しくは、84 ページ「WPS 設定」を参照してください。

127

2. インターネットへの接続に失敗した。

1. サービスエリア内であることをご確認ください。
2. 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。
3. 時間帯によって接続先が混雑していることもありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。
4. GLO4P 設定ツールを起動し、WAN 設定やネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。詳しくは、71 ページ「WAN 設定」を参照してください。

3. 通信がすぐに切れる。

1. 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
2. 本製品の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、AC アダプタを接続するか、USB ケーブルでパソコンに接続して充電してください。充電方法については、28 ページを参照してください。
3. 本製品とパソコンなどが、無線 LAN または USB ケーブルにより正しく接続されていることを確認してください。
4. 本製品と無線 LAN 端末を無線 LAN で接続している場合には、本製品の電源をいったん切ってからもう一度電源を入れてください。

5 故障と思われる前に

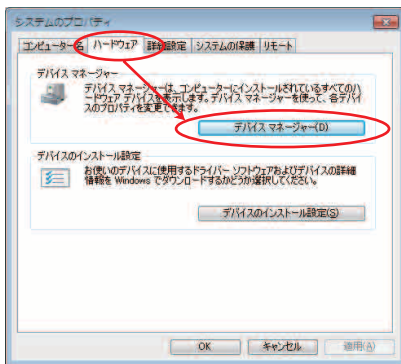
5. 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続している場合には、本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。
6. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

4. 通信速度が遅く感じる。

1. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
2. 回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。
3. 周辺で使用されている無線 LAN 端末などの電波と干渉していることがあります。本製品の無線 LAN チャンネルを変更するか (80 ページ「無線 LAN 設定」)、USB ケーブルで接続して再度試してください。

5. USB ケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない。

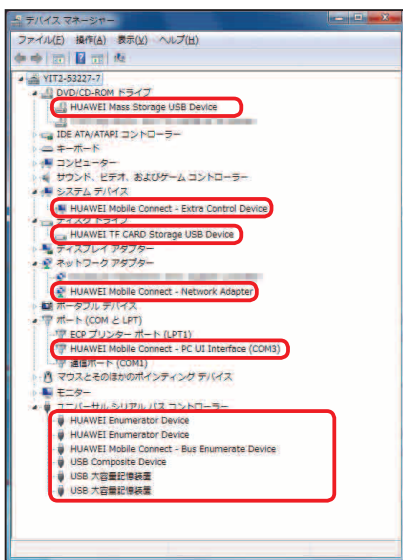
1. 本製品が USB ケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
 2. 本製品をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
- Windows 7 および Vista の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。
1. 「コンピューター」(Windows Vista の場合は「コンピュータ」) を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」をクリックして、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vista の場合は「続行」) をクリックします。
 2. 「システムのプロパティ」の画面が表示されたら、「ハードウェア」のタブを選択し、次の画面を表示させます。



説明

Windows XP をお使いの場合、「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択すると、「システムのプロパティ」の画面が表示されます。「ハードウェア」のタブを選択して上の画面を表示させます。

3. 「デバイスマネージャー」をクリックし、線で囲まれたデバイスが表示されることを確認してください。



- DVD/CD-ROM ドライブ
HUAWEI Mass Storage USB Device
- システム デバイス
HUAWEI Mobile Connect - Extra Control Device
- ディスクドライブ
Huawei TF CARD Storage USB Device
- ネットワークアダプター
HUAWEI Mobile Connect - Network Adapter
- ポート (COM と LPT)
HUAWEI Mobile Connect - PC UI Interface (COMxx)
- ユニバーサル シリアル バス コントローラー
HUAWEI Enumerator Device
HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerator Device
USB Composite Device
USB 大容量記憶装置
USB 大容量記憶装置

5 故障と思われる前に

- Mac の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。
 1. 「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックして開き、「ターミナル」をダブルクリックして起動します。
 2. ターミナルウィンドウが表示されたら、「ls /dev/tty.*」を入力します。
 3. 次の情報が表示されることを確認します。
/dev/tty.HUAWEIMobile-Pcui

6. 本製品をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない。

1. システムが新しいハードウェアを認識してから、インストールの準備をするまでには多少時間がかかります。約 45 秒ほどお待ちください。一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、本製品を一度パソコンから取り外してから、再度接続してください。自動起動しない場合は、53 ページ (Windows)、59 ページ (Mac) を参照してください。
2. ご利用の PC にセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトの機能を停止してインストールをお試しください。機能の停止操作についてはセキュリティソフトの取扱説明書をご確認ください。

7. PIN コードを忘れた。PIN ロック解除コードを知らない。EM chip が完全ロック状態である。

お問い合わせ先 (143 ページ) にご連絡ください。

8. EM chip が認識されない。

1. EM chip が正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳しくは 27 ページ「EM chip を取り付ける」を参照してください。
2. EM chip が変形していないことを確認してください。
3. EM chip の金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。
4. EM chip (特に金属端子部分) が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
5. 1 から 4 までをすべて確認・お試しいただいても改善しない場合は、お問い合わせ先 (143 ページ) にご連絡ください。

9. 本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻したい。

※ EM chip の登録内容、microSD カードに保存した内容は削除されません。

- RESET ボタンを利用する場合
詳しくは、「本製品をお買い上げ時の状態に戻すには (リセット)」(30 ページ) を参照してください。
- GLO4P 設定ツールを利用する場合
本製品をお買い上げ時の状態に戻し、受信したメッセージも全て削除します。
 1. GLO4P 設定ツールを起動します。
 2. 「設定」→「システム設定」→「工場出荷設定」(99 ページ)の順にクリックします。
 3. 「リストア」ボタンをクリックします。

10. 管理者権限 (Administrator) でログインしているのか判らない。

- Windows 7 および Windows Vista の場合
 1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
 2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。
 3. 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしています。
- Windows XP の場合 (手順はクラシック表示を例としています)
 1. 「スタート」をクリックして、「スタート」メニューを表示します。
 2. 「スタート」メニューの一番上に表示されているのが現在ログインしているユーザー名です。「スタート」メニューの表示が、クラシック「スタート」メニューになっている場合は表示されません。「スタート」メニューを右クリックし、プロパティを表示して「スタート」メニューをチェックしてください。
 3. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
 4. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
 5. 表示された画面の「ユーザー名」から、2. で調べたユーザー名○○○を確認します。ユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしています。
- Mac の場合
 1. アップルメニューから「システム環境設定…」を選択します。
 2. 「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「アカウント」をクリックします。
 3. 画面の左側に現在ログインしている「マイアカウント」のユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしています。

11. 「取扱説明書 (本書)」を参照する。

取扱説明書の PDF ファイルは、本製品内に保存されています。

Windows パソコン、Mac、iPad で取扱説明書を参照する場合は、本製品と無線 LAN または USB ケーブル接続し、下記手順を行ってください。

1. Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://pocketwifi.home」と入力して GLO4P 設定ツールを起動します。
2. GLO4P 設定ツールのトップページが表示されますので、画面中央上の「PDF ファイルをダウンロード」をクリックします。

※ PDF ファイルの参照には、アドビシステムズ社が配布している AdobeReader が必要です。

5 故障と思われる前に

12. 音声チャットやビデオチャットの接続が失敗する。

1. サービスエリア内であることをご確認ください。
2. 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。
3. ご使用のアプリケーションが、UPnP 対応の場合、UPnP を有効にしてください。
「設定」→「ファイアウォール設定」→「UPnP 設定」(96 ページ) で有効を選択し、「適用」ボタンをクリックします。

13. IP アドレスエラーが表示される。

インターネット側 IP アドレス (WAN 側) と本製品の IP アドレス (LAN 側) が重複した場合、IP アドレスエラーが本製品のディスプレイに表示されます。

Wi-Fi (WAN) 機能を利用し、公衆無線 LAN のアクセスポイント経由でインターネット接続するとき、WAN 側と LAN 側の IP アドレスが重複する場合があります。重複したままではインターネット接続ができません。GLO4P 設定ツールを起動し、「設定」→「ファイアウォール設定」→「DHCP 設定」(87 ページ) の「IP アドレス」で現在設定している IP アドレスを別の IP アドレスに変更します (お買い上げ時の本製品の IP アドレスは「192.168.1.1」に設定されています。その状態で本現象が発生した場合は、「192.168.1.1」の左から 3 番目の「1」の部分の別の数字に変更します)。あわせて、「開始 IP アドレス」および「終了 IP アドレス」を変更し、「適用」ボタンをクリックします。

- 本製品の IP アドレスを変更した場合は、「ファイアウォール設定」の各設定のうち、IP アドレスを参照する機能についても変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。

6 付録

主な仕様.....	134
GLO4P 設定ツール 設定一覧	135
用語集.....	140
保証とアフターサービス.....	142
お問い合わせ先.....	143

6 付録

主な仕様

■ GLO4P

製品名	GLO4P
サイズ (W × H × D)	約 102mm × 66mm × 14.5mm
質量	約 140g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed (microUSB 端子) microSD カード / microSDHC カード / microSDXC カード対応
消費電力	通信時最大：約 4.3W 通信時一般：約 1.4W 待機時 (無線 LAN オフ時)：約 23mW ※使用状況により消費電力は変化します。
電源	DC 5V、2A
充電時間	AC アダプタ使用時：約 3 時間 USB ケーブル使用時：約 7.5 時間
連続待機時間	約 380 時間 (無線 LAN オフ時)
連続通信時間	約 10 時間 (LTE) / 約 10 時間 (3G)
環境条件	動作温度範囲：0 ~ 35℃ 保管温度範囲：-20 ~ 60℃ 湿度：5 ~ 95%
対応周波数	LTE： 上り：1710 ~ 1785MHz 下り：1805 ~ 1880MHz 3G： 上り：1749.9 ~ 1784.9MHz、1920 ~ 1980MHz 下り：1844.9 ~ 1879.9MHz、2110 ~ 2170MHz WLAN：2400 ~ 2483.5MHz (全 13ch)
通信方式	WAN：LTE/WCDMA/HSDPA/HSUPA/HSPA+/DC-HSDPA WLAN：IEEE802.11b/g/n

■内蔵電池

電圧	3.7V
内蔵電池	リチウムイオンポリマー
容量	3000mAh

■ AC アダプタ

電源	AC 100V ~ 240V
入力電流	最大 0.2A
出力電圧 / 電流	5.0V / 2.0A
サイズ (W × H × D)	約 45.5mm × 約 67mm × 約 22mm

GLO4P設定ツール 設定一覧

以下の記載はパソコン用設定ツール画面での設定一覧です。モバイル機器から設定ツールにアクセスした場合は、一部の項目や名称が変更・省略されています。

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値
接続	—	—
基本情報	—	—
かんたん設定	—	—
設定	—	—
WAN 設定	—	—
ネットワーク選択設定	3G/LTE のみ、Wi-Fi (WAN) 優先	3G/LTE のみ
EM chip PIN 管理	—	—
PIN コード操作	有効にする、無効にする、認証する、変更する	(なし)
現在の PIN コード	4～8桁の数字	(なし)※ ¹
新しい PIN コード	4～8桁の数字	(なし)
新しい PIN コードの確認	4～8桁の数字	(なし)
PUK コード	8桁の数字	(なし)
周波数選択設定	—	—
モード	自動、WCDMA のみ、LTE のみ	自動
ネットワーク検索設定	—	—
モード	自動、手動	自動
ネットワーク	(リスト項目)	(なし)
接続モード設定	—	—
プロファイルリスト	em.std、em.gbl、その他最大 14 件まで保存されているファイル	em.std
切断時間 (分)	5、10、15、30、60	10
MTU (Bytes)	1400～1500	1500
プロファイル設定	—	—
プロファイルリスト	em.std、em.gbl、その他最大 14 件まで保存されているファイル	em.std
プロファイル名	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (、* : ; < > & \ ¥ は除く)	em.std
接続番号	—	*99#※ ²
ユーザ名	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (、* : ; < > & \ ¥ は除く)	em
パスワード	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (、* : ; < > & \ ¥ は除く)	em※ ³
認証方式	PAP、CHAP	PAP
APN	ダイナミック、スタティック	スタティック
	最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (、* : ; < > & \ ¥ は除く)	em.std

6 付録

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
	IP アドレス	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
		0～255の4組の番号	(なし)
	Wi-Fi (WAN) 設定	—	—
	無線 LAN 設定	—	—
	共通設定	—	—
	国名	(リスト項目)	日本
	チャンネル	Auto、1、2、…、13	Auto
	IEEE802.11 モード	b、g、b/g、b/g/n	b/g/n
	速度*2	(Auto)	(Auto)
	無線 LAN 自動オフ	有効、無効	有効
	無線 LAN 自動オフ時間 (分)	5、10、20	10
	周波数帯域幅	20、40	20
	Wi-Fi MIMO	有効、無効	有効
	LCD に暗号化キーを表示する	有効、無効	有効
	SSID1 の設定	—	—
	SSID	最大 32 文字までの半角英数字、 「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	
	SSID ステルス	有効、無効	無効
	プライバシーセパレータ	有効、無効	有効
	IEEE802.11 認証	Auto (Open/Shared)、Open System、Shared Key、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
	WPA 暗号化方式	AES、TKIP、TKIP+AES	TKIP+AES
	WPA 事前共有キー	8 文字以上、最大 63 文字までの半角英数字と半角記号 (、" ; ; < > & \ ¥ は除く)、または 64 桁の 16 進数 (0～9、A～F)	* 4
	暗号化方式	暗号化なし、WEP	WEP
	WEP キー 1～4	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号 (、" ; ; < > & \ ¥ は除く) または 10 桁の 16 進数 (0～9、A～F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号 (、" ; ; < > & \ ¥ は除く) または 26 桁の 16 進数 (0～9、A～F)	WEP キー*4
	現在の WEP キー	1～4	1
	SSID2 の設定	—	—
	SSID2 有効/無効	有効、無効	無効
	SSID2	最大 32 文字までの半角英数字、 「.」、「-」、「_」、「(半角スペース)」	
	SSID ステルス	有効、無効	無効
	プライバシーセパレータ	有効、無効	有効

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
	IEEE802.11 認証	Auto(Open/Shared)、Open System、Shared Key	Auto(Open/Shared)
	暗号化方式	WEP	WEP
	WEP キー 1 ~ 4	64bit キー： 5 文字の半角英数字と半角記号 (, * : ; < > & \ ¥ は除く)、 または 10 桁の 16 進数 (0 ~ 9、 A ~ F) 128bit キー： 13 文字の半角英数字と半角記号 (, * : ; < > & \ ¥ は除く)、また は 26 桁の 16 進数 (0 ~ 9、A ~ F)	WEP キー※4
	現在の WEP キー	1 ~ 4	1
WPS 設定		-	-
	WPS PIN	8 桁の半角数字	(なし)
MAC アドレスフィルタリング設定		-	-
	MAC アドレスフィルタリングモード	無効、許可、拒否	無効
	MAC アドレス	00 ~ FF の 6 組の番号	(なし)
ファイアウォール設定		-	-
	ファイアウォール有効/無効	-	-
	ファイアウォールを有効にする	(オン、オフ)	(オン)
	IP アドレスフィルタを有効にする	(オン、オフ)	(オン)
	WAN ポート PING 応答を無効にする	(オン、オフ)	(オフ)
DHCP 設定		-	-
	IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.1
	サブネットマスク	0 ~ 255 の 4 組の番号	255.255.255.0
	DHCP サーバ	有効、無効	有効
	開始 IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100
	終了 IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.200
	DHCP リースタイム (秒)	60 ~ 86400	86400
	DNS 設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	プライマリ DNS	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
	セカンダリ DNS	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
IP アドレスフィルタリング設定		-	-
	プロトコル	TCP、UDP、TCP/UDP	※5
	ステータス	有効、無効	※5
	LAN 側 IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号とワイルド カードとして「*」	※5
	LAN ポート番号	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※5
	WAN 側 IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号とワイルド カードとして「*」	※5
	WAN ポート番号	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結	※5

6 付録

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
	種別	拒否	拒否* ²
	方向	OUT	OUT* ²
ポートマッピング設定		-	-
	プロトコル	Both, TCP, UDP	Both
	ステータス	有効、無効	無効
	サービス名	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
	WAN ポート番号	1 ~ 65535	(なし)
	LAN 側 IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号	(なし)
	LAN ポート番号	1 ~ 65535	(なし)
	サービス選択	(リスト項目)	(任意設定)
特定アプリケーション設定		-	-
	アプリケーション名	最大 40 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
	ステータス	有効、無効	無効
	トリガーポート番号	1 ~ 65535	(なし)
	トリガープロトコル	Both, TCP, UDP	Both
	オープンポート番号	1 ~ 65535 範囲指定する場合は「-」で連結 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
	オープンプロトコル	Both, TCP, UDP	Both
DMZ 設定		-	-
	DMZ	有効、無効	無効
	DMZ IP アドレス	0 ~ 255 の 4 組の番号	192.168.1.100
UPnP 設定		-	-
	UPnP	有効、無効	有効
SIP ALG 設定		-	-
	SIP ALG を有効にする	(オン、オフ)	(オフ)
	SIP ポート番号	1 ~ 65535	(5060)
システム設定		-	-
ログインパスワード変更		-	-
	現在のパスワード	最大 15 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	admin
	新しいパスワード	最大 15 文字までの半角英数字と半角記号 (. * : ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値
新しいパスワードの確認	最大 15 文字までの半角英数字と半角記号 (, " : ; < > & \ ¥ は除く)	(なし)
バックアップ&リストア	—	—
設定情報のバックアップ	—	—
設定情報のリストア	—	—
工場出荷設定	—	—
本体再起動	—	—
バージョン情報	—	—
アップデート	—	—
microSD 設定	HTTP NAS モード、USB マスストレージモード	USB マスストレージモード
ヘルプ	—	—

※ 1 : お買い上げ時の EM chip の PIN コードは、「9999」に設定されています。

※ 2 : 変更できません。

※ 3 : 画面には「●●」で表示されます。

※ 4 : お買い上げ時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (WEP キー、WPA キー) については、同梱の無線 LAN 初期設定シールを参照してください。

※ 5 : お買い上げ時、本製品には以下の 9 つのフィルタ条件が設定されています。

LAN 側 IP アドレス	LAN ポート番号	WAN 側 IP アドレス	WAN ポート番号	プロトコル	ステータス
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	135 ~ 139	TCP/UDP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	445	TCP/UDP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	2049	TCP/UDP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	1243	TCP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	12345	TCP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	27374	TCP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	31785	TCP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	31789	TCP	有効
192.168.1.*	1 ~ 65535	*.*.*	31791	UDP	有効

用語集

DC-HSDPA (Dual Cell High Speed Downlink Packet Access)

携帯電話で使用される W-CDMA を高速化した、データ受信用の拡張規格です。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IP ネットワークに接続する端末に対して IP アドレスを自動的に割り当て、接続に必要な情報を提供する機能です。接続のための設定が簡単になる反面、接続のたびに IP アドレスが変わるため、IP アドレスで端末を特定することができなくなります。

DMZ (DeMilitarized Zone)

ファイアウォールによって内部ネットワークから隔離された領域で、非武装地帯を意味します。DMZ ホストに設定した端末で、外部に対してすべてのポートがオープンされるため、特別な設定をしなくてもサーバアプリケーションやオンラインゲームを利用することができます。

EM chip

本製品に取り付けて使います。EM chip 内には契約しているお客さまの電話番号などの情報が記憶されています。

HSDPA (High Speed Downlink Packet Access)

携帯電話で使用される W-CDMA を高速化した、データ受信用の拡張規格です。

HSPA+ (High Speed Packet Access +)

携帯電話で使用される W-CDMA を高速化した、データ送受信用の拡張規格です。

HSUPA (High Speed Uplink Packet Access)

携帯電話で使用される W-CDMA を高速化した、データ送信用の拡張規格です。

LTE (Long Term Evolution)

携帯電話で使用される第 3 世代 (3G) 通信規格を高速化した、データ送受信用の次世代高速通信規格です。

MAC アドレス (Media Access Control アドレス)

すべてのネットワーク機器に対して固有に割り当てられた 6 バイト長の ID 番号のことです。一般的に MAC アドレスは、16 進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように表現されます。

PIN (Personal Identification Number)

本製品で EM chip を使うために必要な暗証番号のことです。個人識別番号を意味します。本製品が紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が使えないようにできます。

PUK (Personal Unblocking Key)

PIN ロック解除キーのことです。

SSID (Service Set Identifier)

無線 LAN アクセスポイントを識別するための名前のことです。通信可能な範囲に無線 LAN アクセスポイントが複数ある場合、接続するアクセスポイントを指定するときに利用します。

W-CDMA (Wideband-Code Division Multiple Access)

「広帯域符号分割多元接続」と訳されます。広帯域通信を行うための第三代無線通信方式です。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

無線通信で使われる初期の暗号化規格です。5文字または13文字の共有キーを使用する暗号化方式が採用されています。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

WEPを改良した暗号化規格で、あらかじめ設定した事前共有キーで認証後は、自動的に生成された暗号化キーが使用されます。また、長い暗号化キーをサポートするAES (Advanced Encryption Standard) と暗号化キーを動的に変更するTKIP (Temporal Key Integrity Protocol) という2つの暗号化方式を利用して、より安全な通信を行うことができます。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

無線LANの接続やセキュリティ設定を簡単にできるようにする機能です。プッシュボタン方式やPINコード方式など、複数の接続方式が利用できます。

WPS PIN

WPSに対応した無線LAN端末が発行する数桁の数字です。WPSのPINコード方式で設定するとき、この数字を本製品に入力することで、安全に無線LAN設定をすることができます。

ファイアウォール

インターネットなどの外部ネットワークから内部ネットワーク (LAN) に対するアクセスを監視し、不正な侵入を防止するためのシステムのことで、

ポート番号

インターネット上の通信で、データを受け取るアプリケーションやサービスを指定するための番号のことです。0～65535の番号を指定でき、一般的な用途が決められているウェルノウンポート番号 (0～1023)、特定のアプリケーションなどが使用するレジスタードポート番号 (1024～49151)、自由に利用できるダイナミック/プライベートポート番号 (49152～65535) の3種類に区分されます。

ローミング

携帯電話事業者間の合意により、他事業者エリア内でも携帯電話を利用できるサービスです。

保証とアフターサービス

【保証について】

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認のうえ、内容をよくお読みになって大切に保管してください。「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。保証内容については、保証書に記載されています。

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

【修理について】

本書の「困ったときは」をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（143 ページ）までご連絡ください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理の際に、本製品に登録した情報内容または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先（143 ページ）までご連絡ください。

【補修用部品】

本製品および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後 6 年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）

一般電話から：0120-736-157（無料）

※ 他社の携帯電話、PHS からもご利用いただけます。

海外から：+81-3-6831-3333（有料）

受付時間 9：00～21：00（日本時間 / 年中無休）

※ 間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

※ 一部の光電話、IP 電話等からはご利用いただけない場合があります。

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・アクセス株式会社
(製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.)
発行年月：2012年11月 第4版

